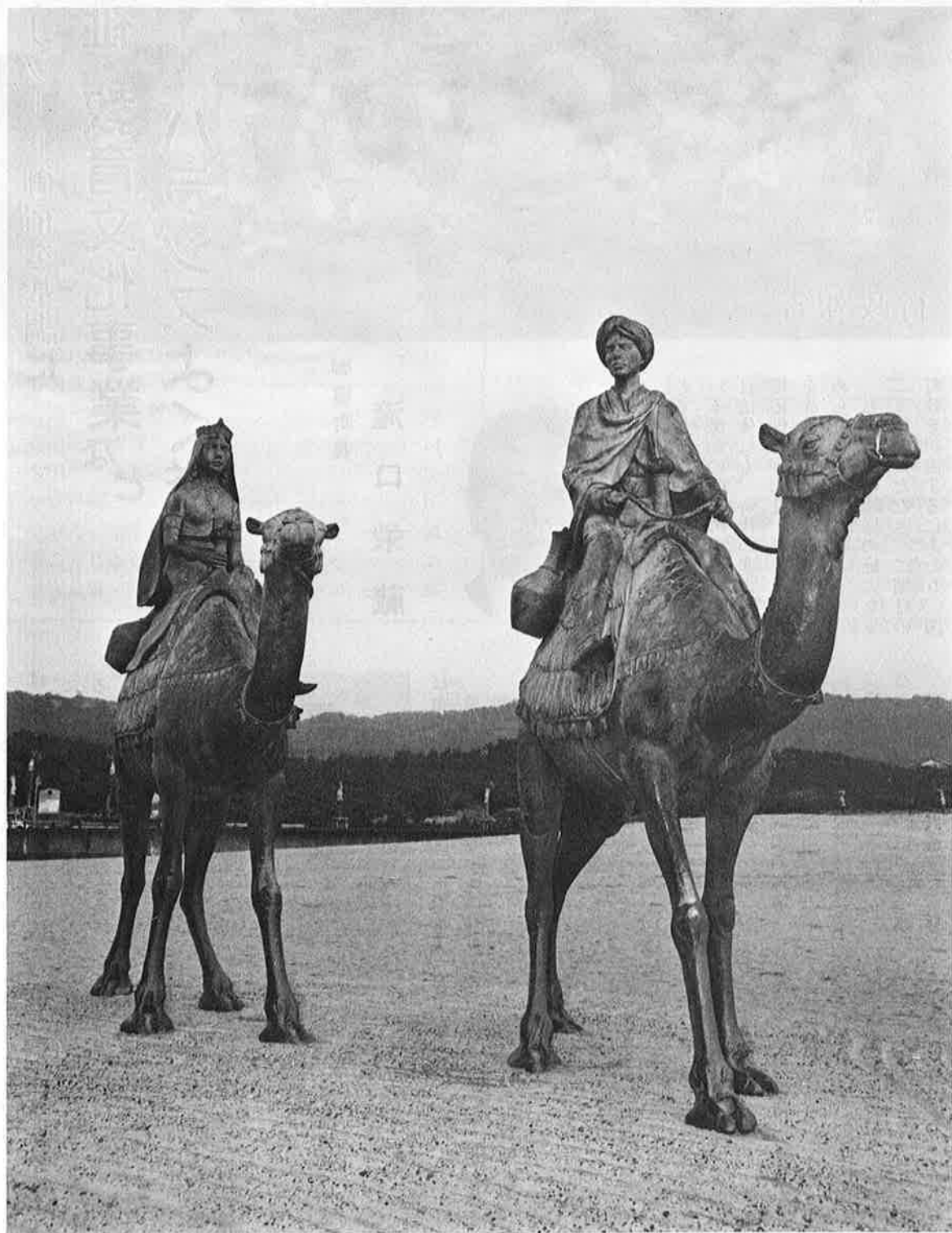


おんじゆく

第338号

町勢特集号

平成3年12月



月の沙漠記念像



マリン・リゾート御宿を基調に

福祉・教育文化事業など

バランスよく推進

行政報告

世界の政治体制が予測を越えて大きく変貌しようとしている激動の時代の中で、地方自治体にも、時代の変化への即応性と弾力性、更には時代を先取りする進取の気概が求められています。

私も町民の皆様の絶大なご支援をいただき、二期目の町政を担当するにあたり、国際化、情報化、高齢化の進展

御宿町長

滝口 栄蔵



など社会経済の動向をしっかりと見据え、町民の皆様が私に与えてくれた四年間を、ふるさと・御宿の発展のために「誠意と実行」をモットーとして一身を捧げる決意と共に次の重点施策・目標を掲げ、全力をあげて取り組んでおります。

重点施策・

目標

- 健康で文化的な、心豊かな生活のための諸施策
 - 教育施設・設備の充実と教育環境の向上
 - 町の将来を展望した幹線道路の整備促進
 - 人口増加のための施策（出産育児祝金、保育、住環境の充実）
 - 町営プールの改修
 - 広域水道、外房線複線化の促進
- ◆ ◆ ◆
- 平成三年は、こうした重点施策を中心に、町づくりの目標である「自然と産業が調和したマリン・リゾート御宿」の創造に向けて、着実に諸事業を推進してまいりました。
- この結果、布施・高山地区の水道事業が計画どおり、平成三年度内に完了する運びとなったのをはじめ、高齢化対策の一環として建設を進めてきた地域福祉センターの竣工。さらには長年の懸案であった役場庁舎並びに保健センターの建設など、施設整備の面で大きく前進いたしました。
- また、三人目以降のお子さんが生まれたご家庭に九十万円の出産育児祝金を贈る制度

はじめに

1991年の最後をかざる町勢特集号を発行します。この特集号は、町政の1年間のあゆみと、新しい年の方針を統計資料とともに編集し、みなさまにお知らせするものです。

資料をよせられた関係機関の方々に厚くお礼申し上げます。

目次

◇行政報告	2
◇1991年町の動き	3
◇行政全般	4・5
◇開 発	6
◇水道事業	7
◇環境行政	8
◇保健・福祉	9
◇学校教育	10
◇公民館・資料館	11
◇農業・漁業	12
◇観光・商工業	13
◇消防・建設	14
◇国民健康保険	15
◇資料編	16
◇おんじゆく暮らしのダイジェスト	34
◇おんじゆくの唄	35
◇官公署・団体施設	36

をスタートさせると共に、民間の福祉活動を支援するための「地域福祉基金」の創設など、完成した地域福祉センターの活用と合わせ、新たな福祉施策の展開を図りました。さらに、四月から町単独の教育委員会を設置し、より地域に密着した教育施策を推進し、中学校にパソコン教室を開設するなど、学校教育の施設、環境整備に取り組みました。同時に、町歴史民俗資料館とドイツの博物館との姉妹提携により、教育、文化の国際

交流の面でも新しい一歩を踏み出しました。このほか、町有地の有効活用と総合リゾート計画の核となるリゾートホテルの誘致や美しい環境づくりのための各種事業など、全ての分野で大きな成果をあげると同時に、月の沙漠通りが建設省の「手づくり郷土賞」をまた、月の沙漠記念館が県の優良施策として知事表彰を受けるなど、明るい話題が多い一年でした。このように行政が順調に進展したのは、町民の皆様のご

理解とご協力があったからであり、今後も町民の皆様の声に耳を傾け、職員と一体となって諸施策の推進にあたります。二十一世紀へ躍動する町・御宿―この「町勢特集号」は町の一年間の歩みをふりかえり、新たなまちづくりの糧とすべく、統計資料と共に編集し、みなさんにお届けするものです。町の姿をご理解され今後とも一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1991年 平成三年 町の動き

【七月】	一日 農林水産課新設	【二月】	一日 元旦歩こう会
八日 月の沙漠記念館開館一周年記念行事	【八月】	四日 新年祝賀式	七日 消防団出初め式
一〇日 月の沙漠通りが「手づくり郷土賞」受賞	一日 御宿海岸で大規模津波防災訓練	【三月】	【三月】
【九月】	一〇日 福祉基金を設置	【四月】	【四月】
一三日 役場新庁舎・保健センター起工式	二二日 町議会議員選挙無投票に	【五月】	【五月】
【一〇月】	九日 御宿中学校パソコン教室工事着工	【六月】	【六月】
【十一月】	二二日 歴史民俗資料館がドイツのボウボウアタマ博物館と姉妹館提携	【七月】	【七月】
二五日 地域福祉センター竣工式	【十二月】	【七月】	【七月】
二六日 火葬場建設委員会設置	【七月】	【七月】	【七月】
三一日 渚の火祭り	【七月】	【七月】	【七月】

行政全般

国際化・情報化・高齢化に

対応しながら

積極的に町づくりを推進

住民側からの権利、いわば知る権利と行政の側から知ってもらう義務を果たすというルールの中で、町では、町政の方針を

一 公正で心のかよう町づくり

と定め各種施策にとり組んでおります。

二 産業を振興し活力ある

しかしながらわたしたちの

町づくり

三 教育・文化・スポーツの町づくり

四 健康と福祉の充実した町づくり



90歳以上のお年寄りに
滝口町長から肖像画のプレゼント - 敬老会

町の運営には、選挙や直接請求を通して住民が参加するという住民自治と地方自治体は原則として国の直接の支配を受けないという団体自治という二つの柱で営まれています。こうした原理原則のなかで、

最近、地域の自主性、主体性、地域の特色を活かした町づくりがさげばれており、ますます自治体の自律性が強く求められていく傾向を示しています。このことは、従前から行われていた慣行による慣れやマンネリ化を招かないで、進取の気概を職員に与え行政が展開されるという点からも好ましいことだといえます。行政の中味を出来るだけ住民の皆さんに知ってもらいそれによって行政に対する関心を高め、行政に積極的に参加していただくことがより大切だといえます。

現在進めている 事業や課題

① 活力ある

福祉の町づくり

地域福祉センターの完成により、文字どおり地域ぐるみの福祉の推進拠点が出来たわけ、この施設の運営は社会福祉協議会に委ねられました。この施設は、とかくおとしりだけを対象にした施設と受けとめられやすいのですが、おとしりはおとしりだけで楽しんだり学んだりという考え方になりやすいので、若い人や子供たちと一緒に利用できることが望まれます。

地域住民の連帯感を高めるため、本当の意味の福祉の町づくりのためにも、どなたでも利用してほしいものです。

② 公平な町政

平成三年度で待望の全町給水体制が出来上ります。町民である限りだれでも同等の行

政サービスが受けられることが基本です。

布施・高山田地区への上水道の完成によって、長年水不足や悪い水質になやまされていたなやみが解消されるわけです。今後は、水道事業が受益者の皆さんの一層水道の利用を多くしていただき一日も早く経営が好転することが望まれます。

③ 高尚な

保養地づくり

海の保養地——マリン・リゾートという町づくりに向けて、その基盤づくりが町内各所で着々と進められています。農村の遊休地を利用した施設づくり、休眠している町の土地の活用など様々なリゾート施設が計画されています。こうした施設づくりによって地域おこしをするわけですが、町づくりは人づくりという認識に立ちますと、地域社会の人——つまり町民が、地域社会——つまり自分の住む町に誇りと自信と愛着を持つことが町づくりにとって欠かせない要素となります。

④ 身近な

環境整備

日常生活に欠かせない生活関連道路の整備。リゾートにふさわしい文化性をもった道路やファニチャー類。人が語り、くつろげる遊歩道付き道路や交通渋滞の緩和を促すリゾート道路。県都や首都圏へのアクセス道路などの整備が進められています。また、河川や海水を汚す家庭からの生活雑排水の浄化のための合併浄化槽の設置の促進や身近な環境美化のための花いっぱい運動やゴミ処理の町民総ぐるみの清掃など、町民参加の環境浄化の施策も進めています。

⑤ 行政の近代化と

新しいコミュニティづくり

平成五年の春には、新しい役場庁舎と保健センターが誕生します。

住民の健康づくりのための施設と、住民の対話とふれあいの場、行政サービスの拠点としての新庁舎の建設により、

行政サービスの向上をはかります。

⑥ 教育環境の整備

行政に限らず地域社会全体が将来の子供たちをどう育てたらよいかを考える大切な時期にきています。リゾートは人づくりという観点からも重要な課題です。

いま町では、情報化社会に対応できる生徒の育成ということで、郡内他町に先がけてOA機器の導入をし、コンピュータによる教育を始めることになりました。また、国際化に備えて、それぞれの学校で

国際交流の積極的な動きが出てきています。

⑦ 農・漁業・観光

商工業の振興による

地域の活性化

町の基幹産業である農・漁業、観光産業、さらに商工業の発展によって活力ある町づくりのために漁業の生産基盤の整備や農地の転作奨励、農地の流動化の促進。観光産業は多彩なイベントや集客施設の整備や宣伝媒体を通してPRなどを行い、観光や商業の発展にも力を入れています。

これから

取り組む課題

① 都市計画の導入

自然環境を保全しながら、恵まれた住環境と都市機能をもった町づくりのために、都市計画を導入し、グランドデザインを確立することが大切です。そのためには、住民の同意づくりのための環境を整える必要があります。

② 公共下水道の導入

いつまでも白い砂浜を維持することや河川の水質浄化と海洋資源を保護・育成するために公共下水道の整備が欠かせない課題です。

上水道の全町布設が完了し、これからは公共下水道導入のための調査・研究体制が必要です。

③ 教育環境の整備と

人づくり

情報化や国際化に対応した

教育が進められ、リゾートにふさわしい人づくりが行われています。

これからは、教育機器の整備はもとより、教育施設の集約も含めて、時代に即応した施設づくりが望まれます。

④ 地域福祉の充実と

住民の連帯感

待望の地域福祉センターの完成により、地域ぐるみ福祉の推進に拍車がかかりますが、これからは、心の豊かさ、地域社会の人と人との関係の豊かさ、地域住民の連帯感が課題となります。

福祉は、いろいろな施設を整備したり、金を与えればことうが足りるというのではなく、地域住民の奉仕活動を母体として、福祉活動が行われているところに意義があるわけで、豊かさが実感できる福祉の充実が望まれます。

⑤ 産業の振興

リゾート施設の整備と充実によって、就業の場の確保や地域商業が波及効果によってリゾートにふさわしい附加価



地域ぐるみの教育、そして健康づくり
— 親子で協力し合って玉入れ

値の高い商品の開発に進むことが望まれます。

漁業は、磯根資源の保護と作り育てる漁業への環境づくりが必要となります。

⑥ リゾートへの格上げ

「自然と産業が調和」した海のリゾートとマリナーリゾートを創ることが町の目標です。町全体をリゾートタウン化していくことです。

リゾートというのは、そこに住む人々が豊かで生き生き生活し、町が育んできた歴史や文化や自然環境を大切に、長期的な視点にたった快適で安全な地域空間の創造がリゾートの基本です。したがってリゾートのステータス（地位）をさらに高めるためには、はっきりとしたコンセプト（基本理念）の確立が欠かせない要素となります。

町のすすめるリゾート開発のコンセプトは

(一) リゾートとしての地位の確立

(二) リゾートの「核」づくり

(三) 環境の快適性の創造
であります。こうしたしっかりとしたコンセプトづくり

が確立されることによって、リゾートの格付けが高まることとなります。

⑦ スポーツ施設と文化づくり

文化という言葉は、英語ではカルチャーといいますが、カルチャーの語源は、「耕す」という意味です。荒廢した土地を耕し、そこに種を蒔き、

花を咲かせ、立派な実をならすという、こうした観点に立って行政を進めることが文化の香り高い町づくりを形成することになります。

また、町民の体力の向上や健康で長生きをするための施設づくりとして、公的なスポーツ施設の充実が欠かせない要素であります。

⑧ 行政改革

簡素でわかりやすい行政、だれでも、どんなことでも相談の出来る雰囲気と気安さのもてる行政の場である「役所」づくりがこれからは欠かせない条件となります。

地域住民が「主役」となって、町づくりを進めることが

行政のむだを省き、開かれた行政の根幹をなすものです。そのためには、恵まれた自然と、空間ときれいな環境のなかに施設を位置づけ、様々な人々が様々な目的をもって集い、語らいつける施設が欠かせない要件となります。こうした環境のもとで、思い切った改革と発想の転換をはかり、行政サービスを充実させることが必要となります。

◀ 御宿を訪れる人に
豊かな海の恵みを
海山交流会で地曳網



開発

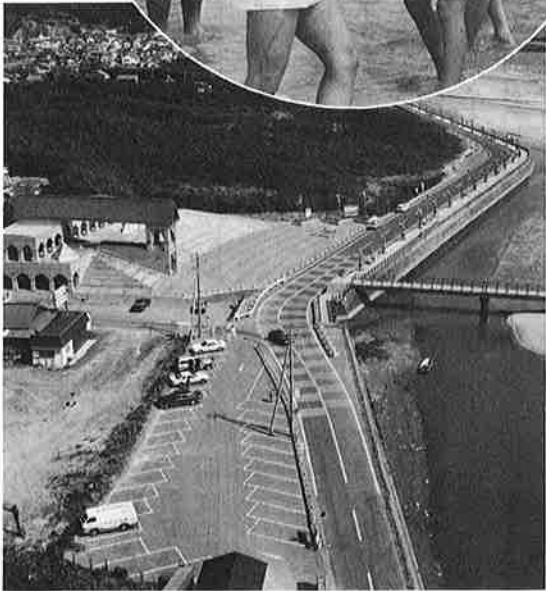
マリナーリゾート計画に 基づいた 土地利用・地域開発

昭和五十六年に国土利用計画法に基づく「都市地域」に編入され、都市計画導入について平成元年より基礎調査とマスタープランを作成しました。

これからは、この調査資料をもとに産業基盤・住環境・商業・文化・教育等について分析し、都市計画導入の可能性について検討していきます。

昭和三十六年に国土利用計画法に基づく「都市地域」に編入され、都市計画導入について平成元年より基礎調査とマスタープランを作成しました。

御宿マリナーリゾート計画は、地域開発計画の一つであり、今後の町のあり方を決める重要なもので、都市計画もこの計画にそって行われていきます。また、広域消防の整備、南房総広域水道事業、JR外房線の複線化促進など他の町と一緒に広域的な土地利用と地域開発にも取り組んでいきます。



月の沙漠記念館周辺は公園的要素をもたせた整備が進められています

水道事業

布施
高山田

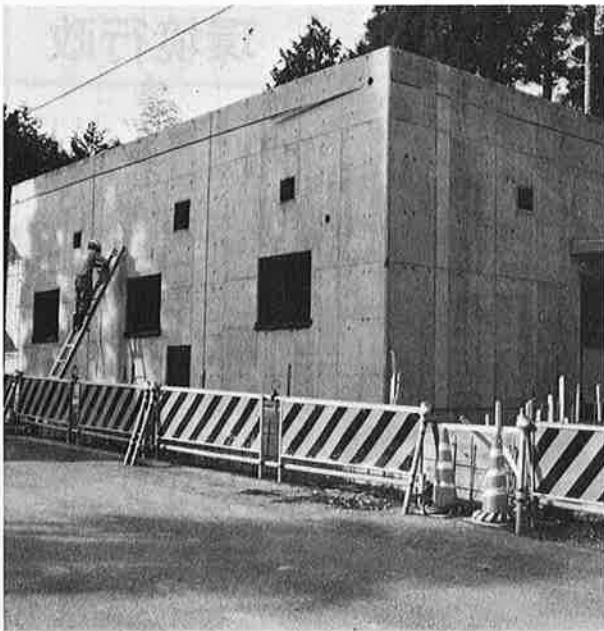
地区拡張事業

今年度で完成へ

〔建設改良〕

未給水地域の解消を目指し
元年度から実施してまいりま
した布施・高山田地域の拡張
工事も今年度(平成四年三月)

をもって完成させるべく、現
在急ピッチで工事が進められ
ております。これに伴い、各
戸の給水装置工事も本管工事
に並行して指定工事店により、
順次施工されており、平成四



布施地区の上水道給水拡張のため建設された
加圧ポンプ場 一小幡地先

〔別表1〕これからの給水工事(メーターボックスまで)給水予定一覧表

	給水工事		給水予定	
	県道ぞい	町道ぞい	県道ぞい	町道ぞい
高山田	完	了	給水開始	給水開始
実谷上	完	了	H4年 2月1日より	H4年 2月1日より
新久井	完	了	H4年 1月31日まで	H4年 4月1日より
小幡	完	了	H4年 1月31日まで	H4年 4月1日より
立山	完	了	H4年 1月31日まで	H4年 4月1日より
新宿	完	了	H4年 5月30日まで	H4年 6月1日より

※七本、実谷中、実谷下地区は給水開始済み

年七月までには全加入世帯に
給水出来るよう全力を傾注い
たします。(布施・高山田地区
の今後の給水装置工事及び給
水予定は別表1のとおり)
又、市街地区域で配水管が
未整備のため給水出来なかつ
た家政高校裏や久保中原地先
の配水管埋設工事夏前に完
了し、すでに給水を開始して
おり、着実に全町給水の夢が
実現しつつあります。

〔経営状況〕

平成三年度上半期(四月〜
九月)の経営状況は給水戸数

が二、〇七一戸(市街地一部一、
七九七戸、御宿台二二八戸、
実谷、七本四六戸)で前年度
対比一七九戸増率にして九・
五%の増、使用水量で前年度
対比七・六%増の三六四、九
一三㎡、料金収入で約六%増
の六七、三九五千円となりま
した。又、一日最大給水量は
八日四日(日曜日)で四、八
五二㎡で配水能力(六一〇〇
㎡)の約八〇%でした(経営
状況表一別表2-1、上水道
普及状況表一別表2-2のと
おり)

〔別表2-1〕

水道経営状況

	給水戸数	左の内訳		使用水量 m ³ (A)	水道料金 千円	メーター料金 千円	計 千円	配水量 m ³ (B)	有収率 %/年	一戸一月平均 使用水量 m ³	日最高 使用水量 m ³	給水人口	一日平均 使用水量 m ³
		基本料金 戸数	超過料金 戸数										
3年度(9月末)	2,071	607	1,464	364,913	65,466	1,935	67,395	406,978	89.7	29.4	4,852	5,131	1,983
2年度(9月末)	1,892	521	1,371	338,931	61,836	1,741	63,577	362,986	93.4	29.9	4,665	4,696	1,842
比較増減	179	86	93	25,982	3,624	196	3,820	43,992	△3.7	△0.5	187	435	141

〔別表2-2〕(9月末現在)

数値		給水区域人口	給水区域戸数
		3年度	8,080
2年度	8,022	2,583	
比較増減		58	—
普及率	3年度	63.5	80.2
	2年度	58.5	73.4
比較増減		5.0	6.8

リゾートの根幹

“きれいな環境づくり”

着々と…

リゾートの根幹、土台となります。きれいな環境づくりが、住民の皆さんの積極的な活動を中心に、子供たちも、ボランティアの皆さんも、一緒に、広く展開されて

います。

環境行政に関して、今年実施してきました主要事業について、そして平成四年度事業の新たな目標について、ご紹介いたします。



▲ 町中を花でいっぱい

〈平成三年度事業〉

じん芥処理対策

久しく懸案となっていました。夏のごみ対策については「区域分担制」の導入により、明るい見通しがつきました。区域分担制とは、清掃区域を清掃員一人一人に分担し、その受け持ち範囲については、責任をもってきれいにするということです。

海岸ごみ対策については、観光客にクリーン袋を広範囲に配布し、三分間の清掃タイム、飲食禁止ゾーンの設定などを実施しました。課題は残

したものの、ほぼ成功であったと言えるでしょう。

リサイクル運動については「紙の日」の実施や、ボランティアグループの積極的な参加のほか、学校の児童、生徒の皆さんも、空き缶回収リサイクルに大きな役割を果たしました。

管理が大切

“花いっぱい運動”

花いっぱい運動については、商工会青年部、老人クラブ、月見草を咲かせる会など、広くご協力をいただいています。植込んだ後の「水まき、草

新たなデザインにし、設置を考えています。

また、リサイクル運動の輪をより広げるため、ある一定以上活動した団体への助成金なども、検討していきたいと考えています。

花植栽管理を

より充実したものに

花いっぱい美化運動については、今年の反省にもありま

取り、肥料やり”など管理面が非常に大切であることが、改めて認識されました。

また、花と緑の街づくり推進会議を中心に、植込み計画の充実とあわせて、御宿に似合う花や、潮風に耐える強い花が、実地研究され、選択されつつあります。

水をきれいにする運動については、小型合併処理浄化槽の設置促進（十一月末までに十一基設置済、年度末までに三基設置予定）や、清水川等浄化対策会議において、浄化に対する具体案など、活発に意見が提出され、平成四年度の新規事業として反映していく予定です。

したように、管理面の充実を図っていききたいと思えます。花の植栽後の植えっぱなしを極力少なくし、水やり、草取り、肥料やりの徹底した管理に、気を配っていききたいと思えます。

また、清水川周辺への木や花の植栽、裾無川は、護岸がきれいに整備されましたが、その周辺の遊歩道、公園化について、基本計画を策定していきたいと考えています。

雑排水浄化槽の

設置促進

水をきれいにする運動では現在、トイレだけの単独浄化槽を設置している世帯が、千二百七十世帯と、全体の四九％に達していますが、これらの家庭の台所や風呂からの雑排水は、そのまま道路側溝や川に排出されます。

これら雑排水は、河川や海の大きな汚染源になっていますが、これらを少しでも改善

するため、各家庭への雑排水簡易浄化槽の設置について、補助制度を設け、普及促進を図っていききたいと考えています。

小型合併浄化槽についても補助金額を県なみに、引き上げることを検討し、より一層の事業推進を図っていききたいと考えます。

環境保護条例の設置を検討

環境保護条例の

設置を検討

水質の浄化に伴う河川環境

の保護について、毎年錦鯉を清水川に放流しますが、これら錦鯉を保護し育成する「錦鯉保護条例」(仮称)の研究・検討を行います。

また、海岸周辺の環境保全について、最近、特に犬の散歩による糞公害が問題となっており、犬の糞による環境汚染を防止するため、海岸への立ち入り時には、飼主がその処理を徹底するため「海岸環境保全条例」(仮称)なども考えていきたいと思います。

健康

人生80年代

成人病予防に対する

意識向上と健診の実施

日本人の平均寿命は、世界のトップレベルにあり、今や「人生八十年時代」といわれています。しかし、一方では成人病も増加しており、八十年を健康に生きるためには、病気に対する心構えが大切です。

成人病は、若い頃からの生

活習慣に大きく関係しているといわれ、特に食生活の偏りが指摘されています。「飽食の時代」といわれながらも、不足気味の栄養素もあり、健康を保つ上で、バランスのとれた食生活が不可欠であることも事実ですが、食事だけでなく、年一回の健康診断を受け、

ヘルスチェックをしながら、休養・運動も含め、生活様式全体のバランスを考えることが、成人病に対するより積極的な防衛策といえるのではないのでしょうか。

町では、各種健康診断の他皆さんの健康についての心配や疑問についてお答えしたり、正しい知識を普及させるため健康相談や、健康教育を無料で実施しています。自分自身の健康管理のため、ぜひ利用されてはいかがでしょうか。

また、先日、火葬場建設委員会が設置されましたが、私たちの生活に不可欠な、衛生施設整備の充実も、きれいな環境づくりと併せて、進めていきます。

きれいな環境は

みんなのもの

きれいな環境はみんなのもので、みんなで創りあげ、保護していかなければなりません。未来の子供達に、孫たちに、安心してバトンタッチできる環境づくりに、一人一人が気を配って、協力し合っていこうではありませんか。

ふれあいと支えあいのある

福祉をめざして

福祉

超高齢社会に突入した現在

住民の福祉が充実し、健康で心豊かに暮らせる町づくりを展開しています。

平成二年度から建設中でありました地域福祉センターもこのほど竣工となりました。

お年寄りをはじめとする町民だれもが気軽に利用できる施設です。



また、お年寄りが長年培ってきた知識と技能を發揮できる作業室等も整え、超高齢社会にむけて、人々の交流により、生きがいが高められるよう、地域づくりの拠点となるよう町社会福祉協議会との連携をもとに福祉を推進してまいります。

このほか、保健、医療、福祉の分野の連携により病氣予防対策、「ねたきり介護」から「ねたきりにさせない介護」等高齢者対策事業に取り組み「ふれあいと支えあい」のある福祉社会をめざします。

学校教育

豊かな心と健康な体

個性を伸ばす

児童生徒の育成をめざして

御宿町教育委員会が今年四月に発足して以来、一、知性と教養と創造性を整えた人間性豊かな児童・生徒の育成を図る。二、健康でたくましい体力と生きがいのある生活、新しい時代に順応できる人間

づくりを推進する。という教育方針を掲げ、重点施策として、人間性豊かで創造性に富んだ児童・生徒の育成、豊かな知性と生きがいのある生活の二点を定め、教育現場や父母と協力しながら、町の児童・



日中友好市民訪中団から児童達に中国の子供たちの作品が贈られましたー御宿小国際館にて

生徒の実態をよく知り、健全な育成に努めております。今年度は、夷隅郡教育委員会からの引継事項を整理して、現場の実態調査を繰り返し行ない、教育環境の整備充実を図っております。

御宿中学校

授業にパソコンが

お目見え

御宿中学校では「気づき、考え、行動する生徒」の育成をめざして、教育内容の充実を努めておりますが、特に情報化社会に対応できる人材の養成をめざし、郡内初のパソコン導入を計画し、パソコン教室への改造、パソコン二十一台の導入が進められ、平成四年一月から、その教育が始まります。又体育館屋根防水・消火栓ポンプ交換、浄化槽の器具交換等の工事を行ない教育環境の整備を図りました。

御宿小学校

はだしで歩ける

教室に

御宿小学校では、よく考える子ども、たくましい子ども、ねばり強い子ども、思いやりのある子ども、力を合わせる子どもを育てることを目標に教育活動に努力しております。本年度は、



自分の手で海岸を美しく

教室の床の張り替え、排水溝の蓋取り付け、体育施設の改修等の工事を行い、水泳指導、給食指導、生活科への移行等の環境整備を図りました。

岩和田小学校

グラウンド周辺

整備も完了

岩和田小学では、新しい時代を担う、健康で知性と徳性を整えた豊かな児童の育成と生涯学習の基礎づくりを目標に小規模校なりに教育の充実を期して努力しております。グラウンド周囲ブロック積工事、飼育小屋新設、渡り廊下改修、防球ネット張り替え等

教育環境の整備に努めております。

布施小学校

文集の発行など

文化活動の充実

布施小学校では、新しい時代を担う、健康で知性を整えた人間性の豊かな、たくましい子、思いやりのある子、よく考える子、の育成に努めております。

浄化槽の補強工事等、教育環境の充実整備を行なっており、「笹の台」「松風」等の文集の発行等、文化活動の発展充実を期して努力しております。

また、小学校は平成四年度から、中学校は平成五年度から教育課程が改訂され、生活科の新設等若干教育内容が変わってきます。今後は新教育課程への移行に伴う施設整備の改善を図る必要があります。

御宿町の教育は、公民館活動、社会教育活動の児童・生

公民館

“生涯学習時代”における公民館の役割

平成二年七月に、生涯学習法が施行されるなど年々生涯学習推進の体制整備に関する国の施策が進められております。

今、世をあげての生涯学習時代を迎え、生涯学習推進の拠点施設として公民館に大きな期待がかけられています。さらに、国際化、情報化、高齢化社会の進行、自由時間の増大等の社会的背景から人々の生涯学習に対する関心が高まりその活動は多岐にわたっております。

国際交流関係では現在スペイン語教室、情報化としてパソコン教室など四十の教室、

徒の健全育成事業との連携を深め、高齢者とのふれあい、親子のふれあいの機会を通して、明るい素直な、やさしい気持ちのある、豊かな心と健康な体を整えた児童・生徒の個性を伸ばす教育の充実をめざして、教育環境の整備充実而努力いたします。

クラブなどが行なわれております。その活動も充実し、利用団体も年々増加しております。

今後は公民館活動を通じてそれぞれの立場で社会参加できるようにしたいと思います。

平成三年度は次のような目標を掲げ利用促進を図ります。
○自然とのふれあい、仲間との切磋琢磨、老若の交流を図る。
○スポーツレクリエーション活動を促進し住民の体力向上につとめる。

○住民が気安く利用し、ふれあいを深めるために、施設、整備の充実と環境の整備改善につとめる。

資料館

暮らし・人物・教育を

三つの柱に企画展示

歴史民俗資料館では、国際的な文化交流の場として、改修を行い、十一月一日より、三つのコーナーから成る展示を行っています。

その一つとして「御宿と暮らし」のコーナー、ここには農具、漁具、民具などの他、御宿町の歴史について展示し

てあります。

第二のコーナーは、今回特に新設された「御宿と人」。御宿に住み、あるいは御宿を訪れた文人や画家など、十二名を紹介しています。

また、このコーナーには、アカプルコ市と御宿町の姉妹都市関係に関する展示の他、

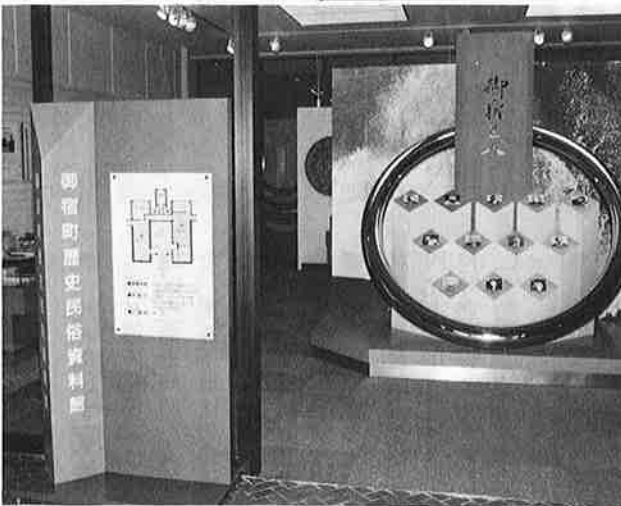
十一月十二日に、御宿町歴史民俗資料館と、姉妹館提携を結んだ、ドイツのボウボウアタマ博物館の資料も見る事ができます。なお、姉妹館提携の基になった、絵本「ボウボウアタマ」を一冊、八〇〇円で販売しています。

第三のコーナーは「御宿と教え」。世界の初等教育の教科書、六十四カ国、三万二千冊を収蔵、展示した五倫文庫があります。

新しく改修された資料館、ぜひ一度、ご来館下さい。



文化の日「将棋大会」



国際交流の場として、3つのコーナーで御宿を紹介一改修された歴史民俗資料館

農 業

品質が良く

味の良い米づくり

本年の米づくりは、九月から十月にかけての長雨により全国的に生産量は昨年を下回り、品質も低下したようです。御宿町においては、収量は

平年をやや上回ったようですが、品質は一等米の占める率が、昨年 비해低く、平成二年九四・三%が、今年は五七・三%でした。



転作に試みられた「ケイトウ」の栽培
新しい転作のひとつとして期待が寄せられています

これは、倒伏や水管理の不十分さによる青米や、乳白米の発生によるものが多かったためです。

病害虫による品質の低下は、航空防除の適期防除もあり、被害は多くありませんでした。

米は作れば売れる時代ではなくなってきました。千葉県でも「なのはな米」として食味の良い、品質の良い米づくりを推進しています。

米の生産調整は、農家の理解あるご協力をいただき、国からの割当に対して、一二五%、

八〇ヘクタール達成することができました。国では平成四年度の減反割当を、一〇%程度減じるようです。

転作の試み

ケイトウ栽培

また、転作の試作として、高山田地区で、ケイトウの栽培を行い、好結果が得られました。ケイトウは水に強く、転作田や湿地でも栽培できます。来年の栽培面積の拡大が期待されます。

漁 業

アワビ中間育成場による

資源の培養図る

本年の漁業生産高は、漁獲量が減ったことにより、減少が見られました。

アワビ、サザエのような磯根漁業に、著しい減少が見られました。これらの魚種は、移動性が少ないことから、海の環境の変化に、大きく左右

されるのが考えられ、この環境の変化は、海流の変化や

海洋汚染が原因と言われています。

このようなことから、地先の漁場の状態を知るために水中カメラによる、磯根の状況を観察する事業を、今年より継続して実施します。

磯根資源の確保と培養を目的として、岩和田地先の磯根に、アワビの中間育成場とな

林道山の田線は

四年度着工

農林道の整備では、高山田地区の農道舗装を実施しました。実谷下地区の農道整備も今年度で完了します。林道は館山、実谷地区に通じる、向井線林道の舗装が完了します。また、七本地区の山の田線林道の測量調査が終了、幅員四メートル、延長八三〇メートルで、平成四年度より着工します。



る、人工の磯根の造成を実施し、稚貝を放流し、資源の培養を図ります。

光 観

格調高い

海浜リゾートめざす



通年型リゾートを目指し既存の施設の再整備やイベントを開催

成田国際空港、幕張メッセ、東京ディズニーランド等の効果により年間四千五百万人が千葉県を訪れます。しかし、この大半が通過型であり、これらの人々をいかに滞在型にするかが今、千葉県観光の大きな課題となっています。

御宿町においても、首都圏住民を中心とした、滞在型の自然と産業が調和した格調の高いリゾート地を目指すため、最大の財産である白い砂浜を中心に積極的な快適空間、環境整備を進めています。マリン・リゾート御宿の整備目標

設の再整備を行い、町営プールも親水機能をもった、レジャープールに整備をします。農漁業、観光産業との連携を深め、ふるさと産品の育成や各種イベントの開催により、通年型リゾート地への脱却を図ると共に、連帯感

ある地域づくりをめざします。昨年オープンし、好評を博している「月の沙漠記念館」も、さらに展示内容に工夫をこらし、優れた芸術と触れあう機会を提供するとともに、パンフレット、ポスターの作成

や、観光キャンペーンの実施により、新しい御宿のイメージを積極的にPRしていきます。国際的に通用し、より安全で快適な海水浴場の実現の為にモデル海水浴場構想を推進します。

商 工 業

近代的で活力ある 商店街づくり

—自然にやさしい企業誘致も—

● 商業

四月に落成した、新しい商工会館を中心に、町商店街でも、活性化、近代化へ向けての取り組みが進められています。

現在の商業を取り巻く環境は、大規模店舗法の規制緩和等により、中小店にとっては決して楽観視できない状況にあります。先頃の中小企業庁による調査でも、九〇%をこ

える商店街が、停滞または衰退感を抱いているという結果が出ています。その原因としては、「大型店の進出」をはじめとし、「近代化の遅れ」、「環境整備の遅れ」、「人口世帯数の減少」等が上げられています。

こうした状況の中で、国や県は、商業集積法の創設をはじめとし、予算を大幅にアップし、中小商店の振興施策を実施しています。

町商店街でも、設置以来八年を迎え、老朽化が激しい街路灯を美観、景観の向上のため、新たに設置する計画を立てています。

このほか、有利な制度を活用し、駐車場、歩道の整備等、マリンリゾートとしての環境整備を含め、近代的な活力ある商店街づくりに努めています。

● 工業

工業は、形態を変えつつあり、鉄鋼、石油等の素材型から、電気機械等の組立加工型へ、軽工業へ移行しつつあります。また研究開発機能を強化する企業も増えています。

こうした状況は、機能の分散化を生み、大規模工場は、地方や海外へ移る傾向にありこれが首都圏の工業の小型化を進行させています。

こうした中で、町には自然を生かした、環境に与える影響の小さい業種の研究開発、試作生産部門など、リゾートにふさわしい、豊かな自然にやさしい優良企業を誘致することや、リゾート開発に伴うレジャー・スポーツ関連の機器やファッションの研究、開発、試作企業などが、地元企業として創出されることが望まれます。

消 防

防火水槽・消火栓など

消防施設の整備を

本町の消防団は、一本部、八分団、二百五十五名の消防団員で構成され、住民生活の安全を守るため、月二回の試運転や各種訓練、海岸警備、歳末夜警、花火大会警備など日夜尽力しています。

残念なことに、平成三年度は、十一月現在で、三件の火災が発生していますが、消防団による消火活動や、町民の皆さんのご協力により、被害

を最小限に食い止めています。

また、平成二年四月より、夷隅郡市広域常備消防が発足し、防災体制及び救急業務体制の確立が図られています、今後も地域防災の要として、消防団に対する期待は大きく

防火水槽や消火栓等の、消防施設の整備充実を進めていきます。

（消火栓）

平成三年十一月末現在の消



地域に密着した消防活動を

火栓の設置場所は、資料編の二十七ページに掲載してあります。日頃から、自宅近くの消火栓の場所を知っておくことも大切です。

建 設

個性的な地域づくりへ

積極投資



歩道の整備にも自然石を利用しています

郷土（ふるさと）賞」を授与

されました。

道路本来の機能的な整備にとどまらず、より文化性の高い個性的な整備を、限られた中で検討していった成果と言えるでしょう。

このような考え方は、今後も夏の歩行者の安全対策として、継続して実施している、地曳橋から砂丘橋までの清水川沿い歩道整備事業、一〇三〇号線にも取り入れ、平成四年

度完成後には、「月の沙漠通り」に接続することで、益々グレードアップされることが期待されます。

さらに、交通渋滞の緩和と生活基盤の充実を図る、岩和田地先から大原町小池地先に通じるリゾート関連道路〇一〇九号線の中でも、補助基準を検討しながら、可能なかぎり調和のとれた演出をしていきたいと考えますので、早期完成をめざし、地権者の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

地域の道路整備

各区の要望に沿った、生活関連道路等については、快適な環境の整備として、舗装修繕を「新町朝市通り」の他六路線、排水整備等の道路整備を二十二路線で、実施しました。

また、災害防止対策として西林寺から実谷に通じる道路の災害防除工事や、台風による道路及び河川の災害復旧工事は、早期完成を目指し取り組んでいます。

昭和五十二年度より、十五年の歳月をかけて、五基の橋梁や護岸の整備を実施してきました裾無川河川改修工事は

本年度をもって完了しました。隣接住民の皆さんのご協力と関係各位の努力に深く感謝いたします。

このように地域に密着した道路整備事業については、今後とも、区土木委員との連携による二人三脚で、緊急性の高いものから整備を進めていきますので、一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

国・県への要望

本年度の国、県道の整備状況としては、長年懸案となっていました、茂原市まで

の広域農道の整備が、大原町山田地先から実谷地先までの新路線、県道勝浦・布施・大原線として、平成十年を目標に、立山田地先において一部工事が着工されました。

今後の、広域的な経済道路として、早期実現が望まれます。

その他の主な国県道の整備は、県の事業計画及び町の要望により、計画・実施されていますが、当町と他の市町を結ぶ道路網の整備は重要であり、引き続き、国、県へ積極的に要望してまいります。



健康 - 自分に合った体力づくりと検診によるチェック

国民健康保険

“健康”それは

永遠の願い明日への力

○医療費はみんなのもの

健康とは、だれもが願う一生の課題ですが、健康に対する努力はだれのためでもあります。それは、あなた自身のものであると同時に国民健康保険加入者みなさんのためでもあります。それは保険税という大切な財源の節約につながるからです。

そのような意味で「医療費はみんなのもの」ということを知っていただきムダ使いにはお互い気をつけたいものです。○医療費が増えれば保険税も上がる

病気やケガをしたとき「すぐお医者さんへ」と今や保険制度は私たちの生活になくてはならないものとなっています。しかし医療費は年々上昇していることは事実で、医療費がどんどんふくらむとどうなるか、これは他人ごとではありません。

国民健康保険の財源は、み

なさんが納める保険税と国等からの補助金で維持されていますから、台所が苦しくなると、やむなく保険税を値上げしなければならなりません。つまりみなさんがお医者さんにかかればかかるほど医療費が増えますので結局保険税の負担という形であなた自身にひびいてきます。

○病気は自ら治すもの
「病気」という字が示すように病気は気の病(やまい)、つまり精神的な面での病がかなりあります。重病の場合が別として、日常生活に注意し食事療法に徹すれば医者通いをしなくてすむ場合が結構あるものです。

今日のような保険がなかったころは、自宅でゆっくり寝ていれば治った例は数多くありました。病気になったら、お医者さんを信頼し、なんでもうちあけ、指示された療養と日常生活の注意を守れば、

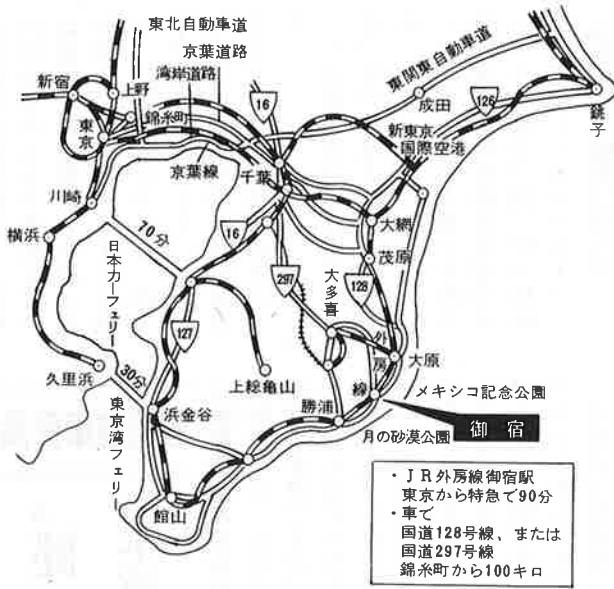
ごく普通の病気は快方へ向うことは今も昔もかわりません。くすりもきつとわずかですむはずです。そうすれば医療費はたいへん安くなります。

病気というものは、くすりや注射だけで治るものではなくしてありません。まずお医者さんを信頼し、いいつけを守ることが医療費(保険税)を有効に使うこととなります。○保険税抑制にもなる早期発見、早期治療
「医療費は節約しようにも節約できない」「病気になれば医者にかかるだけ」「自分にはどうすることもできない」確かにそれもいえます。ですから町が実施する各種検診をご利用ください。

そして、早期発見、早期治療に努め、病院にかかる時は転々とするのではなく、あなたの状態をよく知ってくれている主治医(家庭医)を持つことです。医療費はなぜ増える、この点をご理解いただき、限られた財源の中で、適切な使い方をしたほうが、皆さん一人ひとりのプラスになるのではないのでしょうか。

数字でみる

おんじゅくのすがた

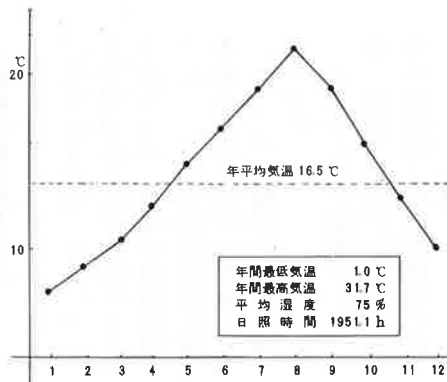


- 沿革……明治22年町村制の施行により、御宿郷の須賀村、浜村、高山田村、久保村の4部落がまとまり、御宿村ができた。
その後、大正3年御宿町と改称。昭和30年町村合併で布施村の一部と浪花村岩和田地区を合併して現在の御宿町となった。
- 位置……御宿町は千葉県東南部、房総半島中央部東端に位置し、首都東京から75kmの南東方向。
東経140度21分23秒。北緯35度11分2秒の地点にある。
- 面積……25.05 km²

●年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6℃	34.1℃	-4.4℃	2220.3mm
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
平成2年	16.5	31.7	-1.0	2164.5

●平成2年の平均気温



●平成2年の月別気温・降雨量

区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	6.2	8.5	10.6	14.3	17.6	21.0	23.7	26.7	24.1	19.1	15.9	10.2℃
最高	17.7	17.6	21.1	21.3	23.8	27.1	29.7	31.7	31.0	28.6	24.2	21.0℃
最低	-1.0	0.4	0.8	3.3	8.8	15.7	17.8	21.6	16.8	11.4	6.6	0.2℃
降雨量	150.0	170.0	98.0	172.0	153.0	123.5	105.0	103.0	387.5	259.5	415.0	28.0mm

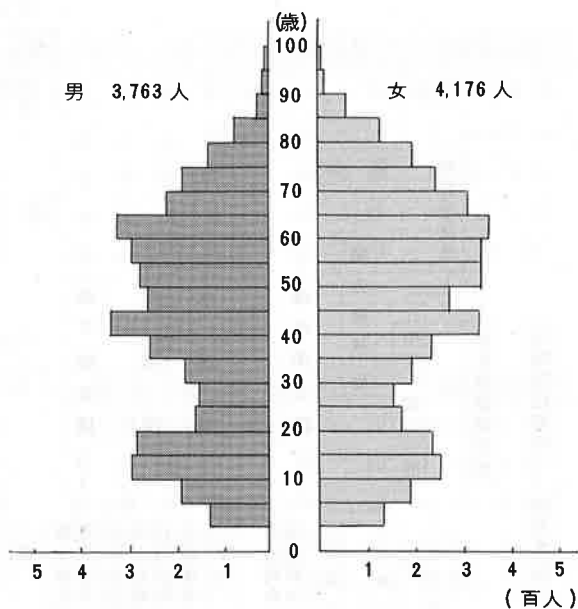
●行政区別世帯数と人口

(3. 10. 1)

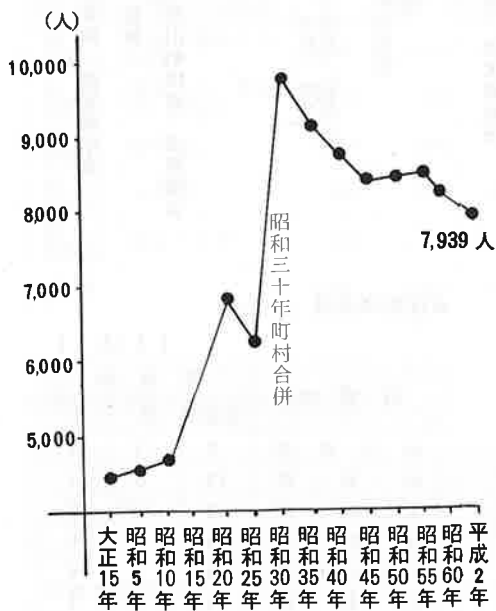
区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須 賀	315	431	461	892
浜	281	403	472	875
高 山 田	84	144	161	305
久 保	358	555	638	1,193
新 町	434	578	679	1,257
六 軒 町	235	330	346	676
岩 和 田	430	670	754	1,424
実谷・七本	128	239	253	492
上 布 施	202	374	380	754
御 宿 台	116	93	116	209
合 計	2,583	3,817	4,260	8,077

(単位：人)

● 5 歳階級別人口 (平成 2 年国勢調査)



●人口の動き (国勢調査)



●人口の推移 (国勢調査)

年 次	世帯数	人 口			1 世 帯 平均人員	人口密度 人/km ²
		総 数	男	女		
大正 15	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448
昭和 5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330
平成 2	2,469	7,939	3,763	4,176	3.2	317

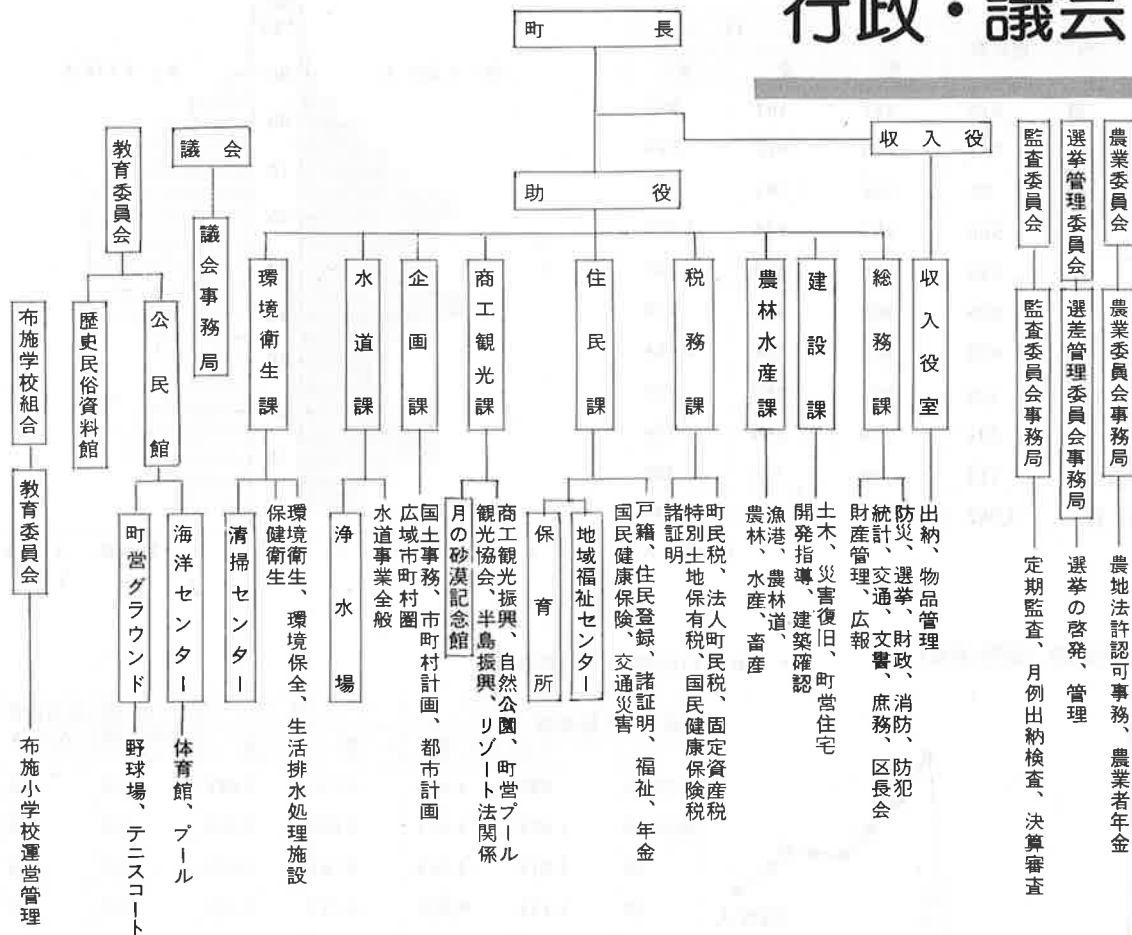
●人口動態

年 度	自 然 動 態						社 会 動 態			
	出生	死亡	自然 出生・ 死亡	増減	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会 増減
昭和 30	184	74	110		19	68	9	484	784	△ 300
40	132	91	41		19	254	9	221	353	△ 132
50	114	94	20		9	208	13	322	379	△ 57
60	60	81	△ 21		4	45	8	319	351	△ 32
平成 2	49	81	△ 32		0	33	13	402	275	127

自 然
人 口

● 行政組織の状況

行政・議会



● 議会

- ・議員定数 16人 (法定数22人)
- ・常任委員会数 3
 - 総務常任委員会 (6)
 - 産業建設常任委員会 (5)
 - 教育民生常任委員会 (5) ()内委員数

● 議会の開催状況

区分 年次	定例会				臨時会				請願 陳情 件数
	回数	会期	町長提出 議案	議員提出 議案	回数	会期	町長提出 議案	議員提出 議案	
60	4	12	40	6	4	4	2	2	3
61	4	10	46	6	2	2	4	1	3
62	4	14	35	12	4	4	9	7	6
63	4	10	49	6	2	2	4	0	4
元	4	11	42	2	6	6	9	3	4
2	4	10	45	5	5	5	13	0	8

● 課別職員数

(3. 10. 1)

課室名	職員数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	12	8	4
企画課	2	2	0
建設課	6	6	0
農林水産課	3	3	0
住民課	10	6	4
税務課	7	6	1
商工観光課	4	4	0
水道課	6	5	1
環境衛生課	13	11	2
農業委員会	1	1	0
議会事務局	2	1	1
教育委員会	3	1	2
公民館	5	4	1
保育所	17	0	17
社会福祉協議会	4	3	1
合計	97	62	35

● 歴代議長（町村合併後）

氏名	就任年月日	退任年月日
吉野 要	昭和 30. 3. 31	昭和 32. 9. 30
浅野 航海	〃 32. 10. 1	〃 34. 9. 30
新井 清治	〃 34. 10. 1	〃 40. 9. 30
関 龍雄	〃 40. 10. 1	〃 44. 9. 30
中村 喜一	〃 44. 10. 11	〃 48. 10. 31
江沢 富士松	〃 48. 12. 4	〃 50. 9. 30
岩崎 栄一郎	〃 50. 10. 1	〃 54. 9. 30
石田 行雄	〃 54. 10. 1	〃 56. 9. 30
井上 泰嗣	〃 56. 10. 1	〃 58. 9. 30
井上 浩一	〃 58. 10. 1	〃 60. 3. 12
白鳥 時雄	〃 60. 4. 16	〃 62. 9. 30
関野 正治	〃 62. 10. 1	平成 元. 9. 21
佐藤 高二	平成 元. 9. 21	〃 3. 9. 30
君塚 秀雄	〃 3. 10. 1	在任中

● 歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
(町長職務) 執行者	大地 重直	昭和 30. 3. 31	昭和 30. 5. 15
1	井上文吉	〃 30. 5. 16	〃 42. 5. 14
2	岩井敏夫	〃 42. 5. 15	〃 54. 5. 14
3	高梨秀治	〃 54. 5. 15	〃 62. 5. 14
4	滝口 栄蔵	〃 62. 5. 15	在任中

● 歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和 30. 10. 18	昭和 38. 10. 17
2	岩井敏夫	〃 39. 1. 10	〃 42. 4. 17
3	佐藤 清司	〃 42. 12. 20	〃 45. 10. 31
4	浅野 興典	〃 47. 4. 1	〃 54. 5. 14
5	池田 覚道	〃 55. 3. 1	〃 62. 5. 14
6	大谷 良司	〃 62. 6. 15	在任中

● 投票区別有権者数

(3年9月現在)

区分	地区	計	男	女
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,547	1,166	1,381
第2投票区	須賀・浜・高山田・御宿台	1,861	872	989
第3投票区	岩和田	1,238	584	654
第4投票区	上布施	577	270	307
第5投票区	実谷・七本	398	194	204
総数		6,621	3,086	3,535

● 歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和 29. 2. 13	昭和 30. 10. 17
2	佐藤 清司	〃 30. 10. 18	〃 42. 12. 19
3	浅野 興典	〃 42. 12. 20	〃 47. 3. 31
4	和田 正美	〃 47. 4. 1	〃 54. 5. 14
5	岩瀬 剛	〃 54. 7. 1	〃 62. 5. 14
6	吉田 庸二	〃 62. 6. 15	在任中

● 最近の選挙における投票状況

選挙名	施行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
県議会議員選挙	S 62. 4. 12	6,343	2,970	3,373	3,692	1,683	2,009	58.21	56.67	59.56
町長	S 62. 4. 26	6,359	2,981	3,378	6,019	2,790	3,229	94.65	93.59	95.59
町議会議員	S 62. 9. 20	6,398	3,011	3,387	6,004	2,789	3,215	93.84	92.63	94.92
県知事	H 元. 3. 19	6,318	2,960	3,358	4,075	1,853	2,222	64.50	62.60	66.17
参議院議員	H 元. 7. 23	6,382	2,982	3,400	3,839	1,810	2,029	60.15	60.70	59.68
衆議院議員	H 2. 2. 18	6,397	2,994	3,403	5,360	2,460	2,900	83.79	82.16	85.22

※平成3年(4月)県議会議員選挙、(4月)町長選挙、(9月)町議会議員選挙は無投票

財 政

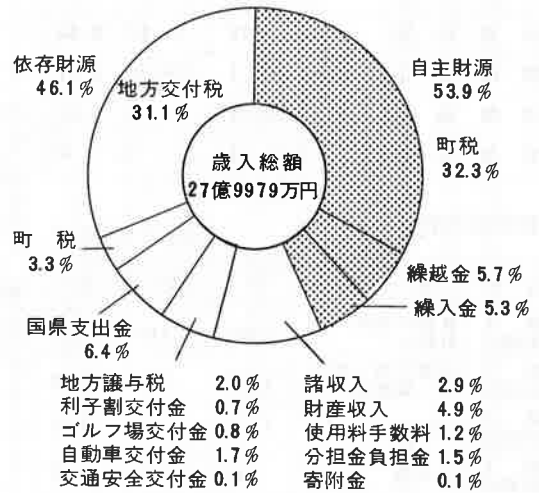
●平成2年度一般会計歳入決算

歳 入

(単位 千円)

科 目	平成2年度		平成元年度		比 較		前年度 増減率
	決算額①	構成比	決算額②	構成比	①-②	③/②	
1.町 税	903,012	32.3%	769,256	29.5%	133,756	17.4%	18.5%
2.地方譲与税	57,268	2.0	50,343	1.9	6,925	13.8	84.3
3.利子割交付金	19,229	0.7	8,638	0.3	10,591	122.6	140.9
4.ゴルフ場交付金	21,940	0.8	21,089	0.8	851	4.0	7.3
5.自動車交付金	46,378	1.7	39,656	1.5	6,722	17.0	2.3
6.地方交付税	871,218	31.1	809,599	31.0	61,619	7.6	21.5
内 普 通	788,119	28.1	732,119	28.0	56,000	7.6	22.1
駅 特 別	83,099	3.0	77,480	3.0	5,619	7.3	16.6
7.交通安全特別対策交付金	1,918	0.1	1,767	0.1	151	8.5	△ 5.5
8.分 担 金	43,048	1.5	54,933	2.1	△ 11,885	△ 21.6	△ 5.9
9.使 用 料	19,566	0.7	7,269	0.3	12,297	169.2	△ 3.2
10.手 数 料	13,853	0.5	14,218	0.6	△ 365	△ 2.6	26.4
11.国庫支出金	54,464	1.9	136,744	5.3	△ 82,280	△ 60.2	5.4
12.県 支 出 金	127,120	4.5	74,822	2.9	52,298	69.9	△ 62.0
13.財 産 収 入	137,317	4.9	100,166	3.8	37,151	37.1	△ 37.4
14.寄 附 金	2,215	0.1	15,407	0.6	△ 13,192	△ 85.6	736.4
15.繰 入 金	147,790	5.3	3,564	0.1	144,226	4,046.7	△ 14.6
16.繰 越 金	160,143	5.7	185,303	7.1	△ 25,160	△ 13.6	10.0
17.雑 収 入	81,410	2.9	61,935	2.4	19,475	31.4	123.5
18.町 債	91,900	3.3	254,000	9.7	△ 162,100	△ 63.8	49.8
合 計	2,799,789	100.0	2,608,709	100.0	191,080	7.3	11.4

●平成2年度一般会計歳入決算と財源別構成比



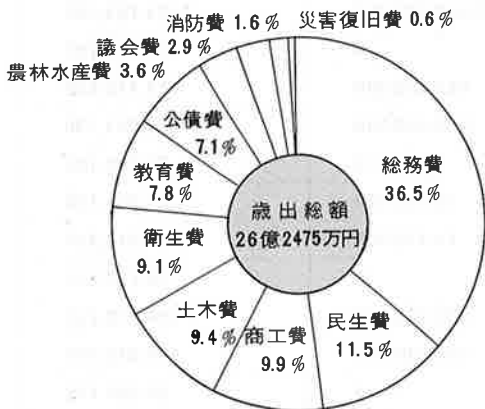
●町税負担状況の推移

●平成2年度住民負担の状況		町民1人当たり・円	
町 民 税 	51,569円	たばこ消費税 	5,923円
固定資産税 	44,754円	入 湯 税 	42円
軽自動車税 	760円	特別土地保有税 	5,317円

(滞納繰越金、国などから交付される固定資産税を除く)

区分	町税総額 千円	一世帯当 り負担額 円	一人当 り負 担 額 円
30	13,618	6,753	1,396
35	15,166	7,408	1,635
40	27,435	13,266	3,112
45	57,725	26,962	6,892
50	187,905	83,886	21,920
55	398,434	165,218	45,823
60	613,882	246,242	72,537
平成2	903,012	336,317	108,365

●平成2年度一般会計目的別歳出決算

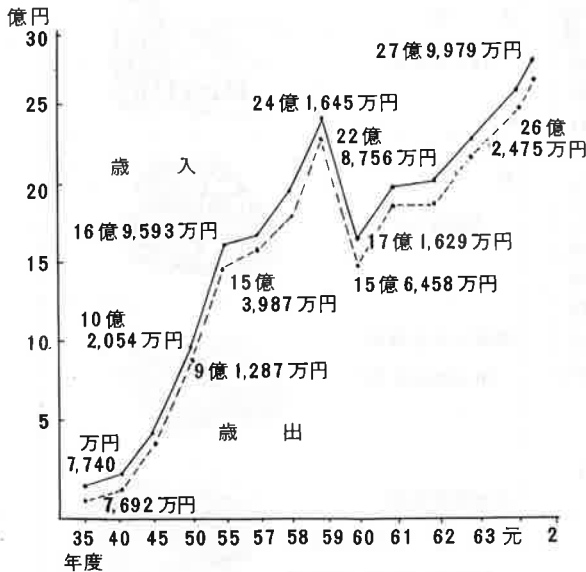


●平成2年度一般会計決算
〔目的別歳出〕

(単位 千円)

科目	平成2年度		平成元年度		比較		前年度 増減率
	決算額①	構成比	決算額②	構成比	①-②	③/②	
1.議会費	77,361	2.9%	67,456	2.8%	9,905	14.7%	4.5%
2.総務費	957,632	36.5%	652,629	26.6%	305,003	46.7%	29.7%
3.民生費	301,815	11.5%	223,533	9.1%	78,282	35.0%	5.7%
4.衛生費	238,088	9.1%	230,829	9.4%	7,259	3.1%	△20.3%
5.農林水産業費	95,235	3.6%	99,356	4.1%	△4,121	△4.1%	△48.1%
6.商工費	260,761	9.9%	393,451	16.1%	△132,690	△33.7%	88.9%
7.土木費	246,620	9.4%	318,544	13.0%	△71,924	△22.6%	29.8%
8.消防費	42,203	1.6%	30,724	1.3%	11,479	37.4%	△31.0%
9.教育費	203,399	7.8%	207,948	8.5%	△4,549	△2.2%	2.3%
10.災害復旧費	15,837	0.6%	62,099	2.5%	△46,262	△74.5%	47.0%
11.公債費	185,794	7.1%	161,997	6.6%	23,797	14.7%	5.9%
合計	2,624,745	100.0%	2,448,566	100.0%	176,179	7.2%	13.5%

●一般会計決算額の推移



〔性質別歳出〕

(単位 千円)

科目	平成2年度		平成元年度		比較		前年度 増減率
	決算額①	構成比	決算額②	構成比	①-②	③/②	
1.消費的経費	1,591,528	60.6%	1,329,966	54.3%	261,542	19.7%	14.6%
(1)人件費	591,409	22.5%	546,869	22.3%	44,540	8.1%	3.0%
(2)物件費	335,152	12.8%	287,195	11.7%	47,957	16.7%	5.2%
(3)維持補修費	5,754	0.2%	4,276	0.2%	1,478	34.6%	△14.5%
(4)扶助費	11,486	0.4%	12,284	0.5%	△798	△6.5%	22.9%
(5)補助費等	444,627	16.9%	302,379	12.4%	142,248	47.0%	16.7%
(6)その他(積立金等)	203,100	7.8%	176,983	7.2%	26,117	14.8%	114.6%
2.投資的経費	810,946	30.9%	916,362	37.4%	△105,416	△11.5%	15.4%
(1)普通建設事業	795,109	30.3%	854,263	34.9%	△59,154	△6.9%	13.7%
(2)災害復旧事業	15,837	0.6%	62,099	2.5%	△46,262	△74.5%	4.7%
3.公債費	185,718	7.1%	161,925	6.6%	23,793	14.7%	6.0%
4.繰出金	36,553	1.4%	40,293	1.7%	△3,740	△9.3%	△19.4%
合計	2,624,745	100.0%	2,448,566	100.0%	176,179	7.2%	13.5%

●財政の変遷〔普通会計〕

(千円)

年度	当初予算額	決算			基準財政 需要額	基準財政 収入額	地方 交付税額	財政力 指数
		歳入	歳出	差引残高				
59	2,450,909	2,436,408	2,300,864	135,544	894,053	441,501	500,694	0.491
60	1,344,447	1,736,930	1,579,733	157,197	954,976	523,785	484,363	0.512
61	1,632,489	2,003,240	1,870,721	132,519	981,921	517,409	518,741	0.523
62	1,658,484	2,016,872	1,848,403	168,469	1,009,665	535,396	534,717	0.535
63	1,936,740	2,342,280	2,156,977	185,303	1,140,993	541,159	666,283	0.510
平成元	2,217,000	2,608,709	2,448,566	160,143	1,336,938	608,431	809,599	0.486
2	3,040,000	2,821,324	2,635,562	185,762	1,554,109	765,990	871,218	0.474

●平成2年度会計別決算

(円)

会計別	区分	予算額	決算額
一般会計	歳入	3,040,000,000	2,799,788,954
	歳出	3,040,000,000	2,624,745,163
	差引残額	0	175,043,791
国民健康保険特別会計	歳入	523,420,000	613,716,832
	歳出	523,420,000	531,021,730
	差引残額	0	82,695,102
プール特別会計	歳入	13,175,000	21,535,135
	歳出	13,175,000	10,817,324
	差引残額	0	10,717,811
老人保健特別会計	歳入	537,138,000	468,178,733
	歳出	537,138,000	443,915,584
	差引残額	0	24,263,149
総合計	歳入	4,113,733,000	3,903,219,654
	歳出	4,113,733,000	3,610,499,801
	差引残額	0	292,719,853

●水道事業会計決算 -平成2年度-
・収益の収入及び支出
(収入)

(円)

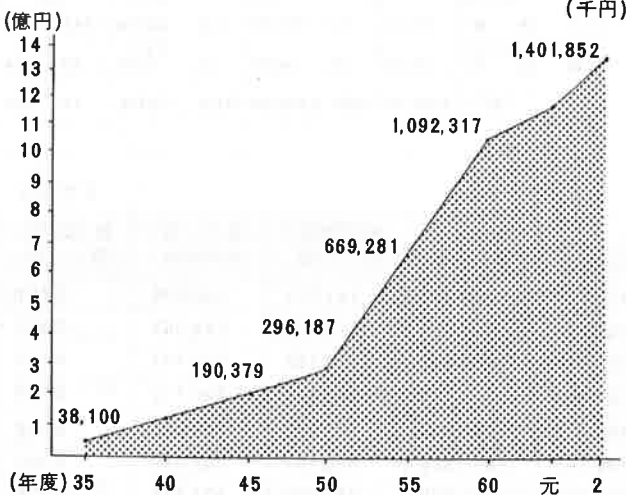
区分	予算額	決算額	予算額に対する増減
水道事業収益	230,660,000	258,125,232	27,465,232
営業収益	142,194,000	153,365,761	11,171,761
営業外収益	88,466,000	104,759,471	16,293,471

(支出) (円)

区分	予算額	決算額	不用額
水道事業費用	215,040,000	212,726,640	2,313,360
営業費用	183,056,203	180,924,997	2,131,206
営業外費用	31,682,850	31,682,850	1,150
予備費	180,797	0	180,797
特別損失	119,000	118,793	207

(消費税込み)

●町の借金(地方債の推移)



●町有財産

平成3年3月31日現在

土地 787,353 m ²	
建物 26,891 m ²	
出資による権利 10,454,600 円	
土地開発基金 預金 8,100,000 円 預託金 23,900,000 円	
財政調整基金 1,346,552,840 円	
減債基金	90,000,000 円
水田農業確立基金	3,982,934 円
国民年金印紙購入基金	6,000,000 円
し尿収集手数料収入証紙購入運用基金	2,800,000 円

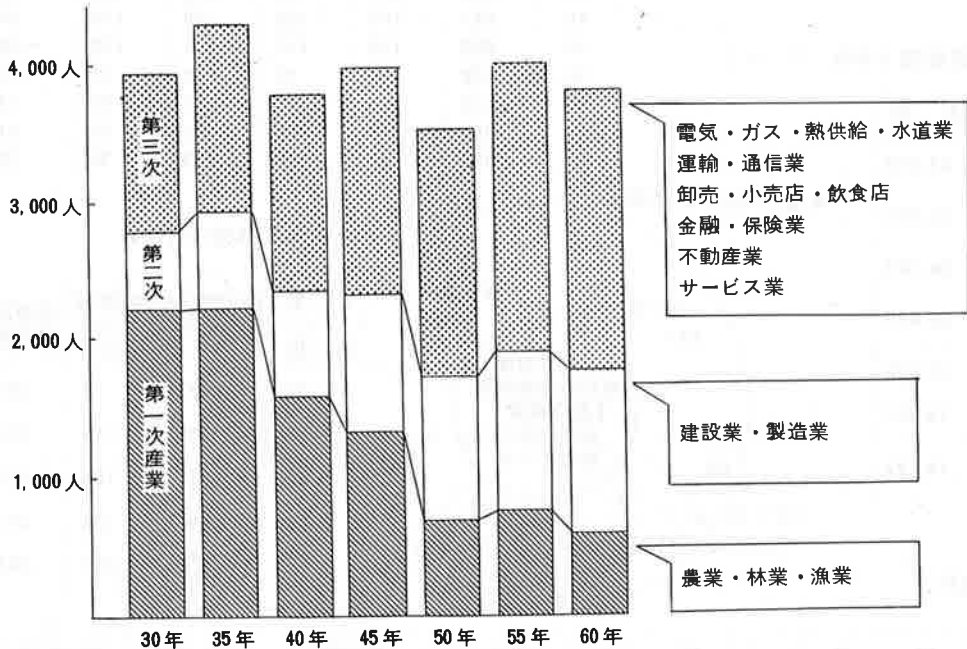
産 業

●産業別就業者数

(国勢調査より)

区分	種別	30年		35年		40年		45年		50年		55年		60年	
		就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%
第1次産業	農業、林業、狩猟業 漁業、水産、養殖業	2,223	56.3	2,231	51.9	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4
第2次産業	鉱業、建設業、 製造業	571	14.5	703	16.4	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1
第3次産業	卸小売業、金融 保険業、その他	1,156	29.2	1,363	31.7	1,415	37.7	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5
計		3,950	100.0	4,297	100.0	3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0

●産業別就業者数の推移(国調)



●所得者別総所得金額

(単位：千円)

所得者区分	年次	60	61	62	63	元	2
給与所得者		4,073,028	4,793,182	5,094,797	5,337,279	5,324,819	5,493,381
営業所得者		426,386	430,168	455,082	538,050	550,753	568,704
農業所得者		25,662	11,678	19,831	17,643	11,266	19,182
その他事業所得者		486,756	408,416	411,069	392,631	372,331	364,178
その他の所得者		67,548	64,060	78,130	77,541	357,347	363,909
譲渡所得者		1,042,415	615,078	211,675	284,253	509,395	3,133,267
計		6,751,795	6,322,582	6,270,584	6,647,397	7,125,911	9,942,621

農 業

● 農家数の動き

年 度	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業
35	745	135	284	326
40	681	49	278	354
45	608	34	198	376
50	470	24	144	302
55	430	23	120	287
60	387	31	25	331
平成 2	340	31	16	293

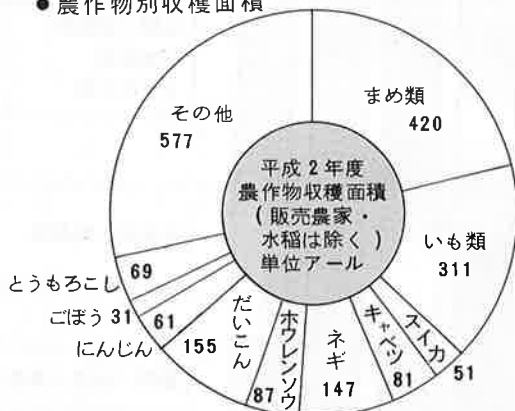
● 経営規模別農家数の動き

年 度	総 数	10~ 30 (a)	30~ 50 (a)	50~ 100 (a)	100~ 150 (a)	150 以上 (a)	例 外 規 定
35	745	221	123	215	157	17	12
40	681	192	106	199	154	23	7
45	608	155	104	187	132	30	—
50	470	96	83	206	71	11	3
55	430	89	81	185	59	13	3
60	387	65	66	183	50	21	2
2	340	39	69	146	56	28	2

● 水稻収穫面積 (単位 アール)

年 次	水 稻
35	33,850
40	32,835
45	28,108
50	22,549
55	19,930
60	19,357
2	16,727

● 農作物別収穫面積



● 農業機械所有台数

年 度	動力耕うん 機農用トラ クター	自脱型 コンバ イン	米麦用 乾燥機	田植機
50	398	3	305	141
55	478	113	322	210
60	501	164	311	254
62	540	186	293	255
元	64 (乗用のみ)	200	263	247

● 農家の推移

年 度	農家 数 (戸)	増 減		農家 人口 (人)	増 減		一戸当 たり農 家人口 (人)	町 総 世帯数 (戸)	町総世 帯数に 対する 農家率 (%)	町 総 人 口 (人)	町総人 口に対 する農 家人口 率 (%)	経 営 耕 地 面 積			
		数 (戸)	率 (%)		数 (人)	率 (%)						総面 積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	そ 他 (ha)
35	745	—	—	4,019	—	—	5.4	2,047	36.4	9,273	43.3	467	359	107	1
40	681	△ 64	△ 8.6	3,459	△ 560	△ 13.9	5.1	2,067	32.9	8,815	39.2	449	355	91	3
45	608	△ 73	△ 10.7	2,882	△ 577	△ 16.7	4.7	2,136	28.5	8,475	34.0	418	341	70	7
50	470	△ 138	△ 22.7	2,204	△ 678	△ 23.5	4.7	2,263	20.8	8,484	26.0	300	247	46	7
55	430	△ 40	△ 8.5	1,941	△ 263	△ 11.9	4.5	2,432	17.7	8,486	22.9	290	234	51	5
60	387	△ 43	△ 10.0	1,667	△ 274	△ 14.1	4.3	2,473	15.6	8,468	19.7	283	226	51	6
2	340	△ 47	△ 12.1	1,413	△ 254	△ 15.2	4.1	2,578	13.2	8,282	17.1	282	217	60	4

漁

業

● 年次別組合水揚高

(単位 千円)

種別	御 宿			岩 和 田		
	63年	元年	2年	63年	元年	2年
魚類	270,701	194,530	228,033	525,872	539,041	652,695
貝類	63,842	57,198	41,810	203,016	137,820	137,713
計	334,543	251,728	269,843	728,888	676,861	790,408

● おもな魚種別水揚高

(単位：トン)

魚種別	御 宿			岩 和 田		
	63年	元	2	63年	元	2
たい	3	3	2	6	5	7
わらさ	1	0	0	2	0	1
ひらめ	2	2	3	12	13	15
さば	0	0	0	0	0	0
ぶり	0	0	0	1	3	2
いか	44	155	48	93	318	77
かつお	130	50	109	258	122	238
いなだ	0	0	0	33	46	242
めじ	1	0	2	28	3	9
まぐろ	15	4	3	3	1	3
さより	0	1	5	0	0	0
このしろ	0	0	0	0	0	0
鮑	4	7	5	6	12	17
さざえ	23	5	1	74	23	2
雑魚	13	16	64	49	27	26
いわし	812	213	30	0	0	0
えび	0	0	3	5	6	20
計	1,048	456	275	570	579	659

● 漁港施設

(平成2年)

項 目	御 宿	岩 和 田
	けい船岸延長 (m)	468
外かく施設延長 (m)	652	1,022
最大入港トン数 (t)	20	9
登録漁船隻数 (隻)	71	169
利用漁船隻数 (隻)	88	174

● 漁業協同組合の状況

(4.1現在)

組 合	平成2年			平成3年		
	計	正組合員	準組合員	計	正組合員	準組合員
御 宿	191	116	75	188	112	76
岩 和 田	462	456	6	462	457	5

● 漁業種類別水揚量

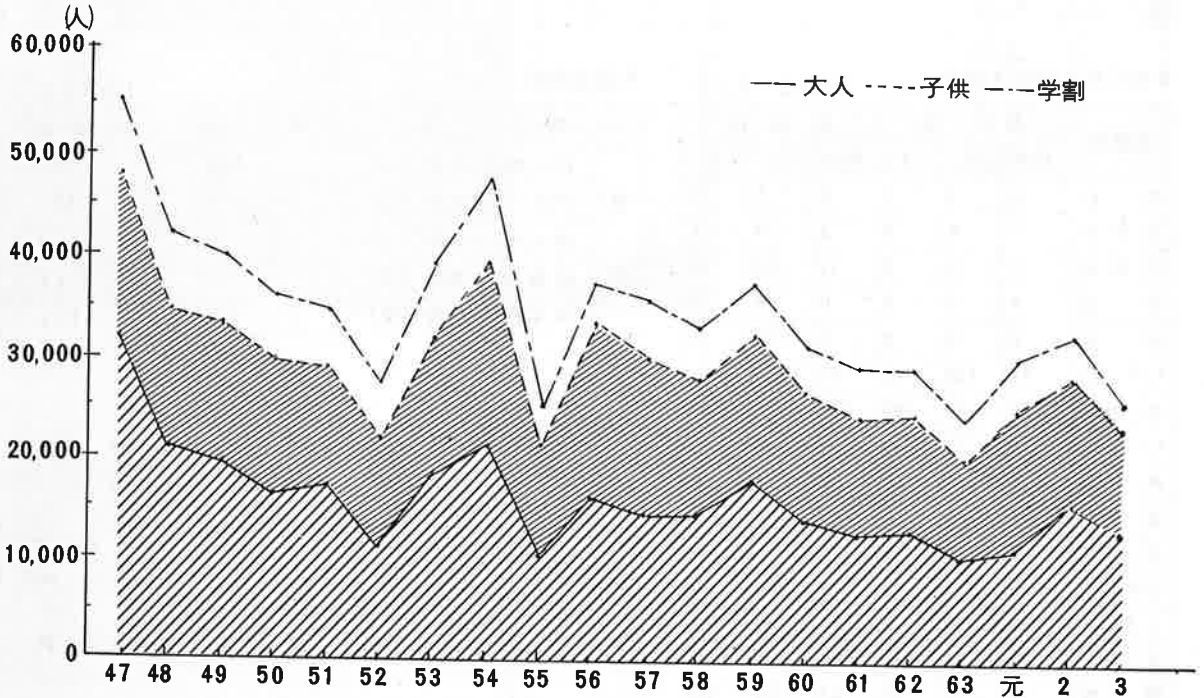
(単位：トン)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	63年	元年	2年	63年	元年	2年
まき網	813	213	30	0	0	244
刺網	7	5	18	120	73	22
さば釣	0	0	0	0	0	0
いか釣	44	155	48	93	318	77
その他の釣	157	72	168	326	125	244
その他の延釣	0	0	0	0	0	0
採貝	27	11	6	15	13	17
採藻	0	4	0	0	0	0
その他の漁業	0	0	5	16	50	55
総計	1,048	460	275	570	579	659

観光

●町営プール

入場者数の推移



●観光施設及び入込数

区分		年度	40年	45年	50年	55年	60年	元年	2年
観光客数 (人)	夏季		344,000	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000	957,000	1,008,000
	年間		396,000	1,310,000	311,000	1,041,000	1,659,000	1,234,000	1,283,000
旅館(軒)			8	20	21	17	17	23	23
民宿(軒)			51	200	250	270	244	267	240
海の家(軒)			26	33	32	32	31	29	29
駐車台数(有料)			1,307	12,512	15,151	18,018	31,346	34,385	36,993
御宿駅の収入(夏季千円)			19,591	51,389	74,019	89,195	140,748	97,229	95,000
観光収入(推計千円)			249,300	369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	3,611,300	3,831,600
町の観光投入額(千円)			4,230	56,000	12,504	20,968	30,434	105,411	57,511

商工業

● 工業（製造業）の状況

年	事業所数	従業者数	年間製造品出荷額
50	49 戸	615 人	1,287 百万円
60	35	489	2,259
元	25	355	1,857
2	28	376	2,054

● 商業の状況

(63.6 現在)

産業中分類	項目	商店数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
卸売業計		7 店	28 人	百万円 857	m ² —
織物、衣服身の回り品小売業		14	45	397	1,459
飲食品小売業		70	232	2,587	3,073
自動車、自転車小売業		5	12	104	263
家具、建具、じゅう器小売業		16	36	254	488
その他小売業		42	154	1,877	1,517
小売業計		147	479	5,219	6,804
計		154	507	6,076	6,804

運輸・通信

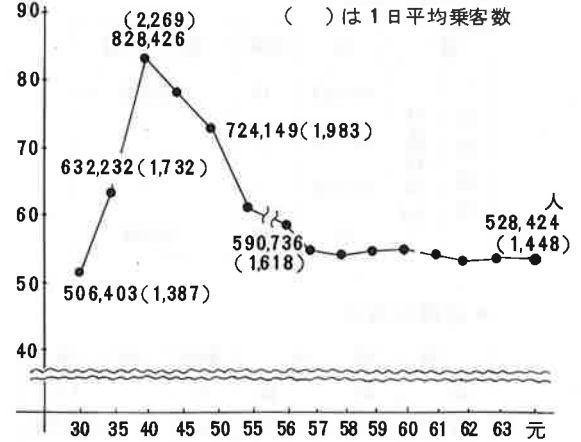
● 自動車保有台数

(3. 4. 1)

車種	御宿町	夷隅郡市計
普通乗用車	113	1,234
小型乗用車	1,919	22,049
トラック	260	3,993
貨客兼用車	196	2,055
バス	17	164
軽自動車 (4輪)	1,010	14,778 (3.7.1)
特殊車	8	344
計	3,523	44,617

● 御宿駅乗客数

(万人)



● 電話加入状況

(12.31 現在)

年次	開 通 加 入 電 話 数								
	総 数			単 独 電 話 数			共 同 電 話 数		
	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用
32	184	180	3	180	180	—	—	—	—
50	2,125	994	1,131	1,888	918	970	237	76	161
55	2,879	1,103	1,776	2,689	1,047	1,642	190	56	134
60	3,283	1,185	2,098	3,213	1,173	2,040	70	12	58
2	4,005	1,415	2,590	3,993	1,410	2,583	12	5	7

建設

● 建築届出件数の推移

区分 年	専用 住宅	旅館店 舗簡易 宿泊所	共同 住宅	併用 住宅	工場 倉庫	その他	計
60	62	10	1	6	4	8	91
61	52	16	1	8	7	2	86
62	56	7	6	9	5	16	99
63	121	6	3	9	6	19	164
元	101	6	4	6	4	12	133
2	153	7	0	11	5	12	188

● 林道の現況

項目		本数	数値
林業 施設	市町村	13	12,566 m
	国有	—	—
	その他	—	—
	計	13	12,566

● 道路の現況

路線名		単位	町道	県道	国道	計		
路 実	線数	本	1,431	4	1	1,436		
	延長	m	239,759	11,255	3,754	254,768		
内 訳	改良済延長	m	52,424	11,027	3,754	67,205		
	未改良延長	m	187,335	228	—	187,563		
内 種 別	橋梁延長	m	91ヶ所 539	8ヶ所 117	1ヶ所 14	670		
	隧道延長	m	9ヶ所 449	1ヶ所 71	4ヶ所 314	834		
幅 員 別 内 訳	改良済	1.3m以上	m	39	7	—	46	
		5.5m以上	m	14,817	7,265	3,532	25,608	
		5.5m未満	m	37,568	3,755	228	41,551	
	未改良	5.5m以上	m	—	—	—	—	
		3.5m以上	m	—	228	—	228	
3.5m未満	m	187,335	—	—	187,335			
自動車交通不能		m	135,337	—	—	135,337		
路 面 別 内 訳	未舗装道			m	170,509	—	170,509	
		舗装道	セメント系	m	4,361	84	314	4,759
	アスファルト系		高級	m	—	7,716	3,440	11,156
	簡易		m	64,889	3,455	—	68,344	
	計		m	69,250	11,255	3,754	84,259	

● 町道の内訳

(3.4.1)

項目		数値
道	実延長 (m)	239,759
	路面面積 (m)	682,094
	改良済延長 (m)	52,424
	舗装済延長 (m)	69,250
	自動車交通不能道延長 (m)	135,337
	歩道延長 (m)	5,673
	防護棚延長 (m)	5,523
	歩道橋 (m)	2ヶ所 27
路	市町村道と鉄道との交差箇所数	7
	うち立体交差箇所数	4

実延長 の内訳	1.5m ~ 5.5m (m)	224,903
	5.5m以上 (m)	14,856
	計	239,759

防 災

● 災害時の避難場所

名 称	所在地	電 話
御宿小学校	久保2085	68-2009
御宿中学校	新町68	68-2101
岩和田小学校	岩和田1075	68-2254
岩和田青年館	// 788	68-4392
サンドスキー場 (避難集合地)	// 1354	
布施小学校	上布施909	68-2437
実谷区民館	実谷586	68-5970
八坂神社 (避難集合地)	須賀525	
御宿家政高校	久保1551	68-2911
B & G海洋センター 体育館	// 1135	68-4143

● 消火栓の設置場所

番号	消火栓所在地	地区	番号	消火栓所在地	地区
1	元湯温泉	泉つ	31	滝口松	蔵新
2	式田み	浜つ	32	伊藤勤	助新
3	大谷福	浜蔵	33	鈴木秀	樹新
4	米本良司	海岸店	34	岩瀬齒科	前新
5	春日荘前	海岸案内所	35	天の守・熊谷喜	六新
6	はまや	商店	36	鶴岡	操新
7	渡辺松	一	37	松谷弘	秀新
8	浜天王	台	38	水谷	剛新
9	君塚洋	二	39	鈴木	敏新
10	鶴岡	実	40	新井	勝新
11	伊藤治	助	41	板垣健	治六
12	佐吉	勇	42	鷹中	丈六
13	本佐伯	進	43	金井三	丈六
14	渡辺治	男	44	立石明	男六
15	須賀三ツ	角	45	柳健吉(補生堂)	六六
16	滝口清次郎	須	46	幸保常	次六
17	日高五郎	須	47	清水礼	六六
18	中央海岸駐車場料金	所	48	小川	征岩
19	三上信雄	須	49	大野元	芳岩
20	君塚盤雄	久	50	水野八	郎岩
21	大地寿美子	久	51	水上定	雄岩
22	井上千英之	久	52	氏原忠	忠岩
23	天白鳥重和	久	53	専修大学セミナーハウス	岩岩
24	御宿中踏切寄道	路	54	木原政吉	雄岩
25	南畑	田	55	江沢政雄	造岩
26	才タフク	綿	56	畑中芳	造岩
27	遠藤智	子	57	嶋村敏	夫岩
28	町堂グランド	久	58	藤井勝	昭岩
29	秋葉	賢	59	埋田勝	昭岩
30			60	岩井敏	夫岩

● 消防の施設状況

3. 3. 31

消 防 ポ ン プ 車	7
水 そ う 付 ポ ン プ 車	1
小 型 ポ ン プ	3
指 揮 広 報 車	1
防 火 水 そ う	83
消 火 栓	60

● 消防団

団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
1	3	15	8	9	45	174	255

● 防災無線(2年度末現在)

戸別受信機	1,870世帯
固定系システム	27ヶ所
移動系システム	

● 火災事故発生件数

年 次	火 災 件 数				焼失面積(㎡)		損害額 (千円)
	総 数	建 物	山 林 原 野	そ の 他	建 物	山 林 そ の 他	
61	3	2	1	0	212	1,500	12,957
62	0	0	0	0	0	0	0
63	0	0	0	0	0	0	0
元	0	0	0	0	0	0	0
2	9	6	2	1	439	555	42,459

基地局(制御器6台)	1局
陸上移動型、車携帯型	17局
ショルダertype	8局
携 帯 型	3局

● 交通事故発生件数の推移

(1. 1~12. 31)

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
61		31	1	39
62		54	1	82
63		50	0	84
元		56	0	90
2		49	0	78

保 健

●胸部検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
元	2,004人	1,246人	62.2%
2	2,757	1,594	57.8
3	2,060	1,488	72.2

●胃がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
元	2,111人	771人	36.5%
2	2,137	631	29.5
3	2,086	666	31.9

●子宮がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
元	1,459人	284人	19.5%
2	1,474	318	21.6
3	1,503	363	24.2

●基本健康診査受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
元	1,735人	842人	48.5%
2	1,708	708	41.5
3	1,583	683	43.1

●乳がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
元	1,551人	289人	18.6%
2	1,485	261	17.6
3	1,498	322	21.5

国 保 ・ 年 金 ・ 老 保

●国民健康保険加入者及び給付状況

種別 年度	世帯数	加入者数				医療費(町支弁額) (千円)			
		一般	退職	国保老人	合計	一般	退職	国保老人	合計
63	1,648	3,298	320	663	4,281	251,824	46,184	276,709	574,717
元	1,675	3,165	340	682	4,187	253,380	51,088	312,759	617,227
2	1,727	3,041	361	750	4,152	280,887	60,512	299,821	641,220

●国民年金受給者の状況

種別	件数・金額	件数	金額(千円)
老 齢 年 金		1,013	367,928
通 算 老 齢 年 金		185	32,535
障 害 年 金		39	31,169
母 子 年 金		4	3,511
寡 婦 年 金		5	2,232
老 齢 基 礎 年 金		227	90,637
障 害 基 礎 年 金		25	18,447
障 害 基 礎 年 金 (旧 福 祉)		63	52,367
遺 族 基 礎 年 金		10	6,629
合 計		1,571	605,455
福 祉 年 金		170	49,420

●老人保健加入者及び給付状況

(千円)

年 度	加入者数	医療費(町支弁額)
63	987	401,988
元	1,010	451,511
2	1,090	419,543

環 境

● ゴミ収集の状況

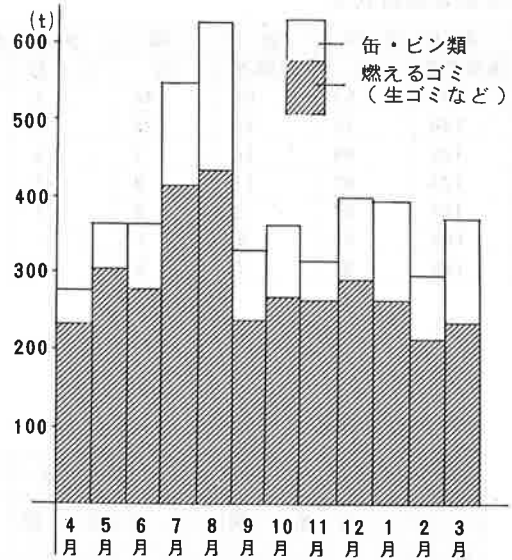
年度	可燃物	不燃物	合計	燃却日数
63	3,484 ^t	654 ^t	4,138 ^t	165 ^日
元	3,165	1,620	4,785	168
2	3,470	1,067	4,537	175

● し尿

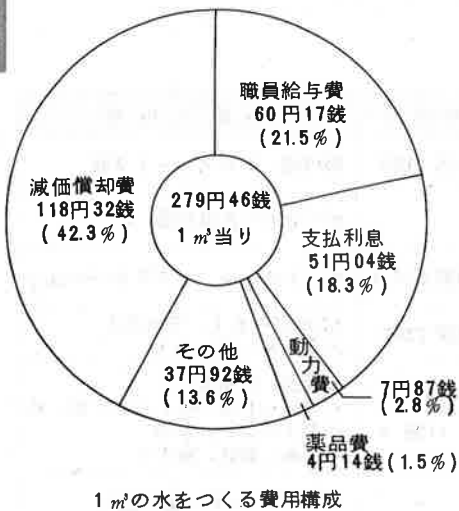
(夷隅郡環境衛生組合)

1. 処理計画人口 (人)	8,238
(1) 非水洗化人口 (人)	4,344
(イ) 計画収集人口 (人)	3,947
(ロ) 自家処理人口 (人)	397
(2) 水洗化人口 (浄化槽人口)	3,894
2. し尿収集の状況 (kg)	4,167
(1) し 尿 (kg)	1,896
(2) 浄化槽汚泥 (kg)	2,271
収集職員数 (人)	4
バキューム車 (台)	2

● 月別ゴミ収集量 (平成2年度)



上 水 道



● 水道ダイジェスト (平成2年度決算から)

区 分	単位	2 年度	元 年度	増 減
年度末給水人口	人	4,918	4,637	281
年度末給水戸数	戸	1,943	1,791	152
年間取水量	m ³	719,839	705,450	14,389
年間給水量	m ³	663,740	668,690	△ 4,950
年間使用水量	m ³	612,158	565,249	46,909
1カ月平均給水量	m ³	55,312	55,724	△ 412
1カ月平均使用水量	m ³	51,013	47,104	3,909
1日最大給水量	m ³	4,665	4,700	△ 35
1日最大使用水量	m ³	4,544	4,315	229
1戸1カ月平均使用水量	m ³	26.3	26.3	-
1人1日平均使用水量	ℓ	341	334	7
月平均給水収益	千円	9,816	9,112	704
給水原価	円・銭	279.46	239.51	39.95
資 本 費	円・銭	169.37	146.09	23.28
施設利用率	%	29.8	30.0	△ 0.2

教 育

●町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

(3.5)

学校名	児童生徒数	学級数	職員数	事業養職 務員	調理員	用務員
御宿中	333	9 (1)	20	1	3	
御宿小	327	11 (2)	18	2	3	
岩和田小	102	6 (1)	12	1		
布施小	162	6 (1)	11	1		1
計	924	32 (5)	61	5	6	

()はうち特殊

●児童・生徒数の推移

年度	区 分 児 童 生 徒 数		
	総 数	小学校	中学校
30	2,063	1,659	404
40	1,828	1,153	675
50	1,220	848	372
60	1,155	773	382
平成 2	954	597	357
3	924	591	333

●中学校卒業生進路状況

卒業年度	高 校 進 学		就 職		各 種 学 校		計
	進学者数	%	就職数	%	人 数	%	
35	71	51	66	48	2	1	139
45	130	72	42	23	8	5	180
50	128	88	10	7	8	5	146
55	124	87	11	8	7	5	142
60	117	97	2	2	1	1	120
平成2	109	93	8	7	—	—	117
3	125	94	7	5	1	1	133

●社会教育施設利用状況

(人)

年 度	公 民 館		資 料 館		海洋センター体育館		同 プ ール	
	一 日	年 間	一 日	年 間	一 日	年 間	一 日	年 間
	平 均	利用者数	平 均	利用者数	利用者数	利用者数	平 均	利用者数
63	107.5	32,358	7.2	2,164	169	49,612	142	12,921
元	105.1	31,844	8.4	2,530	167	48,982	137	13,056
2	107.6	32,174	9.3	2,828	148	43,218	147	12,627

●文 化

●スポーツ

名 称	所在地	施設・内容
公民館	久保2200	調理実習室、和室、茶室 大ホール、大・中会議室 クラブ集会室、絵画工作 室、視聴覚室 図書室、蔵書約 6,500冊
歴史民俗 資料館	久保2200	「御宿と人」「御宿とく らし」「御宿と教え」の コーナー 展示 300展、五倫文庫、 64カ国の教科書32,000冊
月の沙漠 記念館	六軒町 505-1	1 F 企画展示室 2 F 加藤まさを展示室 映像展示室 野外ステージ

名 称	所在地	施設・内容
町営野球場	久保1135	野球場、テニスコート3面
ゲートボール場	〃	ゲートボール場2面
須賀多目的広場	須賀514-1	ゲートボール、ソフトボールなど
町営プール	須賀2208	50mプール1、子供用1 スライダープール1
海洋センター	久保 1135-1	体育館、会議室 バスケットボール、バレーボール バドミントン、卓球 その他(剣道、空手)
海洋センター プ ール	〃	25mプール1、幼児用1

国際交流

【姉妹都市】

アカプルコ市（メキシコ）
昭和53年8月姉妹都市協定締結

【姉妹館】

御宿町歴史民俗資料館
ポウポウアタマ博物館
（ドイツ・フランクフルト市）
平成3年11月姉妹館提携締結



ドイツ・フランクフルト市のポウポウアタマ博物館と
姉妹館提携

指定文化財

区分	番号	名称	所在地	所有者 又承は地	指定年月日
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	御宿町岩和田 626	御宿町	41. 12. 2
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	御宿町久保 1, 916	岩瀬 禎之	49. 3. 27
"	2	木造阿弥陀如来坐像	御宿町浜 572 - 1	妙音寺	"
"	3	亀甲地双鶴鏡	"	"	"
"	4	白銅鏡	"	"	"
"	5	木造大日如来坐像	御宿町上布施 1, 474	真常寺	"
"	6	木造如意輪観音坐像	"	"	"
"	7	十王堂縁起	御宿町六軒町	十王堂	"
"	8	最明寺夫婦銀杏	御宿町須賀 668	最明寺	53. 3. 27
"	9	旧役場大蘇鉄	" " 160	御宿町	"
"	10	双盤	" " 668	最明寺	54. 6. 27
"	11	小幡神楽囃子	" 上布施小幡区	保存会	57. 6. 29
"	12	高山田神楽囃子	" 高山田区	保存会	57. 9. 28
"	13	千人塚供養塔	" 新町字千人塚	妙昌寺	59. 1. 11
"	14	閻魔胎内像・十王像	" 六軒町	十王堂	"
"	15	伊勢参宮絵馬	" 上布施	八幡神社	"
"	16	真常寺石塔	" 上布施 1, 474	真常寺	"
"	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍律像	" 六軒町	十王堂	60. 2. 12
"	18	木造阿弥陀如来坐像	" 浜 618 - 1	観音寺	"
"	19	木造傳祐上人坐像	" 須賀 668	最明寺	"
"	20	紙本着色大田喜藩陣列之図	" 久保 2, 200	御宿町	61. 1. 14
"	21	旧布施村絵図	" 実谷	実谷区	62. 2. 19
"	22	千箇寺参御首題帳	" 上布施 1, 800	吉野 信	"
"	23	孝女竹永志保の碑	" 上布施 827	上布施区新宿	62. 10. 27

御宿町暮らしのダイジェスト

<p>人口密度</p>  <p>1 km² に 317人</p>	<p>家族</p>  <p>1世帯に 3.2人</p>	<p>転入</p>  <p>0.9日 1人</p>	<p>転出</p>  <p>1.3日に 1人</p>
<p>結婚</p>  <p>28.1日に 1組</p>	<p>離婚</p>  <p>11.1日に 1組</p>	<p>出生</p>  <p>7.4日に 1人</p>	<p>死亡</p>  <p>4.5日に 1人</p>
<p>火災</p>  <p>9件</p>	<p>交通事故</p>  <p>7.5日に 1件</p>	<p>水道使用量</p>  <p>1人1日平均 341ℓ</p>	<p>ゴミ</p>  <p>1日平均 12.4トン</p>
<p>町職員</p>  <p>町民 82人に 1人 (3年10月1日現在)</p>	<p>教員</p>  <p>小学生14人に 1人 中学生17人に 1人 (3年5月1日現在)</p>	<p>商店</p>  <p>16世帯に 1店</p>	<p>町税</p>  <p>1人当たりの負担 336,317円</p>
<p>自動車</p>  <p>1世帯に 1.4台</p>	<p>電話</p>  <p>1世帯に 1.6台</p>	<p>救急車出動</p>  <p>1.9日に 1件</p>	<p>町の台所</p>  <p>一般会計からの支出額 町民1人当たり 330,614円</p>

御宿の唄

御宿ブルース

作詩 古谷玲児
作曲 八州秀章
唄 はずらん姉妹

一 あだし人魚よ 七尋八尋
姿いとしや 紺がすり
忘れられよか 忘れてなごか
夢の御宿 海女の唄 海女の唄

二 星の数ほど 寄せては返す
色もとどり 人の波
光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海の唄 海の唄

三 月のあかりに 二人の胸に
乱れ咲く花 月見草
行こか砂丘へ 戻ろか宿へ
夢の御宿 恋の唄 恋の唄

回想譜

作詩 今城晴児 / 編曲 佐伯亮
唄 藤山一郎

一 星みれば はろかに香く
雲みれば つきせぬ想い
去りゆきし 君は詰わねど
御宿の ああ 海の恋しき

一 風吹けば 風もさびしや
虫鳴けば 虫もわびしや
ただひとり 山荘にあれば
堪えがたく ああ 涙ながるる

三 朝には あしたの祈り
夕には ゆうべの願い
嫁ぎゆく 妹にのみ
いまはただ ああ 幸をこのみ

房州御宿音頭

房州 御宿宝の庫よ

ハソリヤ ドウシタ ドウシタ

海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金

ハソリヤ ヤツサイ

ヤツサイ ドントナ

房州御宿 網代の浜は

銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜

潮は黒潮 流れて巻いて

風は汐風 風は汐風 恋の風

あんな男を梶子にもつて

ぬれて苦労が ぬれて苦労が

してみたい

お前や水底 わしや風の中

つなは一筋 つなは一筋

血が通う

板子一枚いといはせぬが

ぬれるお前が ぬれるお前が

いとおしい

房州御宿旅立つ朝は

雨も降らぬに 雨も降らぬに

舟は帆まかせ 帆は風まかせ

わたしやお前の わたしや

お前の つなまかせ

御宿離し

作詩・作曲 加藤まささを

編曲 吉野達弥

唄 中里このえ

一、下んと下んと下んと男波が躍る

躍る男波に抱かれて歌う

女波いとしや月夜の晩は

御宿離して浮かれ出す

二、山にや名物メキシコタワー

浜の砂丘にや王子と姫が

月の沙漠を揺られて越える

対の駱駝の旅姿

三、磯の華かよ岩和田の海水は

浮いて沈んで浮いて

浪がドンと来りや乳房が揺れる

誰が住むやらあの胸に

四、昼は砂丘に浜島顔が

夜は砂丘に宵待草が

粋な浜風花から花に

若い一人の燃える頬に

五 椰子の葉蔭で佳い夢見たよ

野暮なトワロク 磯パン無しの

可愛い人魚が蠟燭若で

忘れちゃおえねえ また来てね

月の沙漠

作詩 加藤まささを

作曲 佐々木すべる

一、月の沙漠を はるばると

旅のらくだが 行きました

金と銀との くらおいて

二つならんで 行きました

二、金のくらは 銀のかめ

銀のくらは 金のかめ

二つのかめは それぞれに

ひもでむすんで ありました

三、先のくらは 王子さま

あとのくらは お姫さま

乗ったふたりは おそろいの

白い上衣を 着てました

四、広い沙漠を ひとすじに

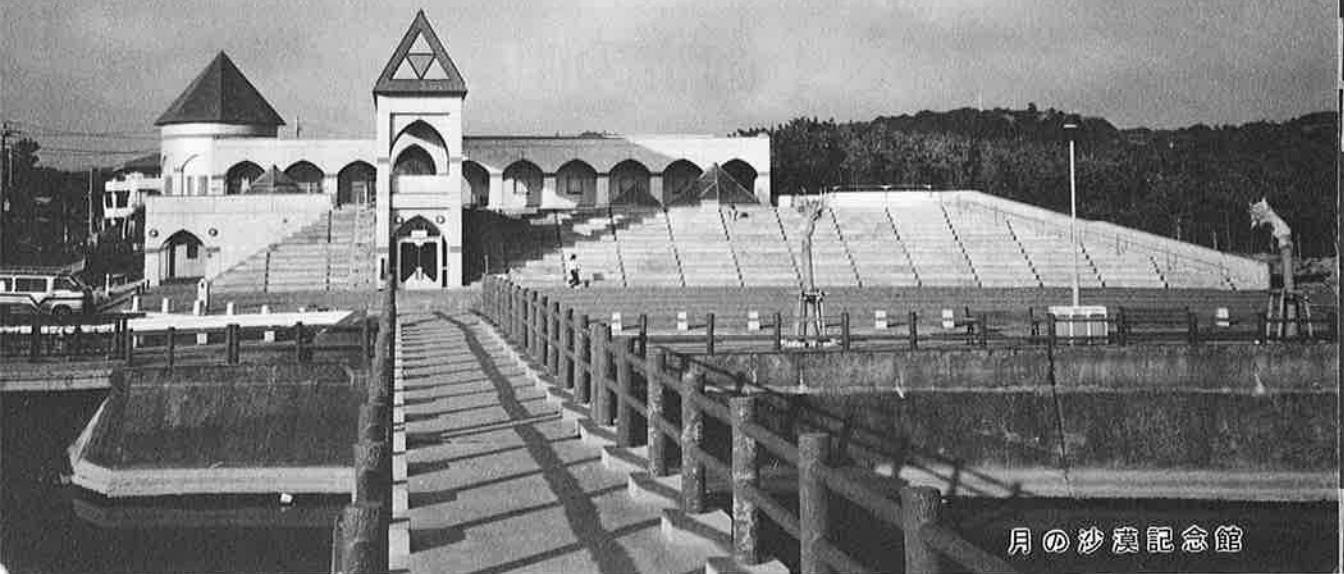
ふたりはどこへ 行くのでしょう

おぼろにけふる 月の夜を

ついのらくたは とぼとぼと

砂丘を越えて 行きました

だまって越えて 行きました



月の沙漠記念館

町内の官公署・団体施設一覧

●役場関係 〒 299-51 市外局番 0470

御宿町役場	久保 2200	☎ (68)2511
公民館	〃 2200	☎ (68)2947
歴史民俗資料館	〃 2200	☎ (68)4311
月の沙漠記念館	六軒町 505-1	☎ (68)6389
御宿町児童館	新町 419	☎ (68)4542
岩和田児童館	岩和田 788	☎ (68)4392
社会福祉協議会	久保 1135-1	☎ (68)6725
御宿町地域福祉センター	〃 〃	☎ (68)6725
御宿海洋センター	〃 1135-1	☎ (68)4143
清掃センター	〃 1041	☎ (68)4613
浄水場	実谷 519	☎ (68)4855
町営運動場(管理棟)	久保 1135	☎ (68)4794

●学校施設

教育委員会	久保 2200	☎ (68)6283
御宿保育所	〃 2180	☎ (68)2459
岩和田保育所	岩和田 926	☎ (68)2944
御宿小学校	久保 2232	☎ (68)2009
岩和田小学校	岩和田 1703	☎ (68)2254
布施小学校	上布施 909	☎ (68)2437
御宿中学校	新町 68	☎ (68)2101
県立御宿家政高等学校	久保 1511	☎ (68)2911

●警察

駅前駐在所	須賀 188	☎ (68) 2100
六軒町駐在所	六軒町 488	☎ (68) 2719
布施駐在所	上布施 875	☎ (68) 4499

●その他

御宿駅	須賀 191	☎ (68) 2053
御宿郵便局	須賀 449	☎ (68) 2871
布施郵便局	上布施 1400	☎ (68) 2870
御宿町漁業協同組合	浜 2164	☎ (68) 2611
岩和田漁業協同組合	岩和田 945	☎ (68) 2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀 167	☎ (68) 2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田 1171 -3	☎ (68) 2654
御宿町観光協会	久保 2200	☎ (68) 2414
御宿町体育協会	〃 2200	☎ (68) 2947
御宿町商工会	新町 417-22	☎ (68) 2818
御宿町商店振興会	〃	☎ (68) 2818
御宿町民宿組合	須賀 191	☎ (68) 2325
御宿町旅館組合	〃 191	☎ (68) 4419